

ヲ支出スルコトヲ得ス但シ議員候補者、選舉委員又ハ選舉事務員ハ選舉事務長ノ文書ニ依ル承諾ヲ得テ之ヲ支出スルコトヲ妨ケス

議員候補者、選舉事務長、選舉委員又ハ選舉事務員ニ非サル者ハ選舉運動ノ費用ヲ支出スルコトヲ得ス但シ演説又ハ推薦狀ニ依ル選舉運動ノ費用ハ此ノ限ニ在ラス

第二百二條 選舉運動ノ費用ハ議員候補者一人ニ付左ノ各號ノ額ヲ超ユルコトヲ得ス

一 選舉區内ノ議員ノ定數ヲ以テ選舉人名簿確定ノ日ニ於テ之ニ記載セラレタル者ノ總數ヲ除シテ得タル數ヲ四十錢ニ乘シテ得タル額

二 選舉ノ一部無効ト爲リ更ニ選舉ヲ行フ場合ニ於テハ選舉區内ノ議員ノ定數ヲ以テ選舉人名簿確定ノ日ニ於テ關係區域ノ選舉人名簿ニ記載セラレタル者ノ總數ヲ除シテ得タル數ヲ四十錢ニ乘シテ得タル額

三 第三十七條ノ規定ニ依リ投票ヲ行フ場合ニ於テハ前號ノ規定ニ準シテ算出シタル額但シ地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監)必要アリト認ムルトキハ之ヲ減額スルコトヲ得  
地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監)ハ選舉ノ期日ノ公布又ハ告示アリタル後直ニ前項ノ規定ニ依ル額ヲ告示スヘシ

第二百三條 選舉運動ノ爲財産上ノ義務ヲ負擔シ又ハ建物、船車馬、印刷物、飲食物其ノ他ノ金錢以外ノ財産上ノ利益ヲ使用シ若ハ費消シタル場合ニ於テハ其ノ義務又ハ利益ヲ時價ニ見積リタル金額ヲ以テ選舉運動ノ費用ト看做ス

第二百四條 左ノ各號ニ掲クル費用ハ之ヲ選舉運動ノ費用ニ非サルモノト看做ス

一 議員候補者カ乗用スル船車馬等ノ爲ニ要シタル費用

二 選舉ノ期日後ニ於テ選舉運動ノ殘務整理ノ爲ニ要シタル費用

三 選舉委員又ハ選舉事務員ノ支出シタル費用ニシテ議員候補者又ハ選舉事務長ト意思ヲ通シテ支出シタル費用以外ノモノ但シ第一百一條第一項ノ規定ノ適用ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

四 第六十七條第一項乃至第三項ノ届出アリタル後議員候補者、選舉事務長、選舉委員又ハ選舉事務員ニ非サル者ノ支出シタル費用ニシテ議員候補者又ハ選舉事務長ト意思ヲ通シテ支出シタル費用以外ノモノ但シ第一百一條第二項ノ規定ノ適用ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

五 立候補準備ノ爲ニ要シタル費用ニシテ議員候補者若ハ選舉事務長ト爲リタル者ノ支出シタル費用又ハ其ノ者ト意思ヲ通シテ支出シタル費用以外ノモノ

第二百五條 選舉事務長ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ帳簿ヲ備ヘ之ニ選舉運動ノ費用ヲ記載スヘシ



第六條 選舉事務長ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ選舉運動ノ費用ヲ精算シ選舉ノ期日ヨリ十四日以内ニ第八十八條第五項ノ届出アリタル警察官署ヲ經テ之ヲ地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監）ニ届出ツヘシ

地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監）ハ前項ノ規定ニ依リ届出アリタル選舉運動ノ費用ヲ告示スヘシ

第七條 選舉事務長ハ前條第一項ノ届出ヲ爲シタル日ヨリ一年間選舉運動ノ費用ニ關スル帳簿及書類ヲ保存スヘシ

前項ノ帳簿及書類ノ種類ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第八條 警察官吏ハ選舉ノ期日後何時ニテモ選舉事務長ニ對シ選舉運動ノ費用ニ關スル帳簿又ハ書類ノ提出ヲ命シ、之ヲ検査シ又ハ之ニ關スル説明ヲ求ムルコトヲ得

第九條 選舉事務長辭任シ又ハ解任セラレタル場合ニ於テハ遲滯ナク選舉運動ノ費用ノ計算ヲ爲シ新ニ選舉事務長ト爲リタル者ニ對シ、新ニ選舉事務長ト爲リタル者ナキトキハ第九十五條ノ規定ニ依リ選舉事務長ノ職務ヲ行フ者ニ對シ選舉事務所、選舉委員、選舉事務員其ノ他ニ關スル事務ト共ニ其ノ引繼ヲ爲スヘシ第九十五條ノ規定ニ依リ選舉事務長ノ職務ヲ行フ

者事務ノ引繼ヲ受ケタル後新ニ選舉事務長定リタルトキ亦同シ

第十條 議員候補者ノ爲支出セラレタル選舉運動ノ費用カ第一百二條第二項ノ規定ニ依リ告示セラレタル額ヲ超エタルトキハ其ノ議員候補者ノ當選ヲ無効トス但シ議員候補者及推薦届出者カ選舉事務長又ハ之ニ代リテ其ノ職務ヲ行フ者ノ選任及監督ニ付相當ノ注意ヲ爲シ且選舉事務長又ハ之ニ代リテ其ノ職務ヲ行フ者ニ於テ選舉運動ノ費用ノ支出ニ付過失ナカリシトキハ此ノ限ニ在ラス

### 第十二章 罰 則

第十一條 詐僞ノ方法ヲ以テ選舉人名簿ニ登録セラレタル者又ハ第二十五條第二項ノ場合ニ於テ虚偽ノ宣言ヲ爲シタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十二條 左ノ各號ニ掲クル行爲ヲ爲シタル者ハ二年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

- 一 當選ヲ得若ハ得シメ又ハ得シメサル目的ヲ以テ選舉人又ハ選舉運動者ニ對シ金錢、物品其ノ他ノ財産上ノ利益若ハ公私ノ職務ノ供與、其ノ供與ノ申込若ハ約束ヲ爲シ又ハ響應接待、其ノ申込若ハ約束ヲ爲シタルトキ



- 二 當選ヲ得若ハ得シメ又ハ得シメサル目的ヲ以テ選舉人又ハ選舉運動者ニ對シ其ノ者又ハ其ノ者ノ關係アル社寺、學校、會社、組合、市町村等ニ對スル用水、小作、債權、寄附其ノ他特殊ノ直接利害關係ヲ利用シテ誘導ヲ爲シタルトキ
  - 三 投票ヲ爲シ若ハ爲ササルコト、選舉運動ヲ爲シ若ハ止メタルコト又ハ其ノ周旋勸誘ヲ爲シタルコトノ報酬ト爲ス目的ヲ以テ選舉人又ハ選舉運動者ニ對シ第一號ニ掲クル行爲ヲ爲シタルトキ
  - 四 第一號若ハ前號ノ供與、饗應接待ヲ受ケ若ハ要求シ、第一號若ハ前號ノ申込ヲ承諾シ又ハ第二號ノ誘導ニ應シ若ハ之ヲ促シタルトキ
  - 五 前各號ニ掲クル行爲ニ關シ周旋又ハ勸誘ヲ爲シタルトキ
- 第百十三條 左ノ各號ニ掲クル行爲ヲ爲シタル者ハ三年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス
- 一 議員候補者タルコト若ハ議員候補者タラムトスルコトヲ止メシムル目的ヲ以テ議員候補者若ハ議員候補者タラムトスル者ニ對シ又ハ當選ヲ辭セシムル目的ヲ以テ當選人ニ對シ前條第一號又ハ第二號ニ掲クル行爲ヲ爲シタルトキ

- 二 議員候補者タルコト若ハ議員候補者タラムトスルコトヲ止メタルコト、當選ヲ辭シタルコト又ハ其ノ周旋勸誘ヲ爲シタルコトノ報酬ト爲ス目的ヲ以テ議員候補者タリシ者、議員候補者タラムトシタル者又ハ當選人タリシ者ニ對シ前條第一號ニ掲クル行爲ヲ爲シタルトキ
  - 三 前二號ノ供與、饗應接待ヲ受ケ若ハ要求シ、前二號ノ申込ヲ承諾シ又ハ第一號ノ誘導ニ應シ若ハ之ヲ促シタルトキ
  - 四 前各號ニ掲クル行爲ニ關シ周旋又ハ勸誘ヲ爲シタルトキ
- 第百十四條 前二條ノ場合ニ於テ收受シタル利益ハ之ヲ沒收ス其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハサルトキハ其ノ價額ヲ追徵ス
- 第百十五條 選舉ニ關シ左ノ各號ニ掲クル行爲ヲ爲シタル者ハ三年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス
- 一 選舉人、議員候補者、議員候補者タラムトスル者、選舉運動者又ハ當選人ニ對シ暴行若ハ威力ヲ加ヘ又ハ之ヲ拐引シタルトキ
  - 二 交通若ハ集會ノ便ヲ妨ケ又ハ演說ヲ妨害シ其ノ他偽計詐術等不正ノ方法ヲ以テ選舉ノ自



二 由ヲ妨害シタルトキハ、  
 三 選舉人、議員候補者、議員候補者タラムトスル者、選舉運動者若ハ當選人又ハ其ノ關係アル社寺、學校、會社、組合、市町村等ニ對スル用水、小作、債權、寄附其ノ他特殊ノ利害關係ヲ利用シテ選舉人、議員候補者、議員候補者タラムトスル者、選舉運動者又ハ當選人ヲ威逼シタルトキハ、

第百十六條 選舉ニ關シ官吏又ハ吏員故意ニ其ノ職務ノ執行ヲ怠リ又ハ職權ヲ濫用シテ選舉ノ自由ヲ妨害シタルトキハ三年以下ノ禁錮ニ處ス  
 官吏又ハ吏員選舉人ニ對シ其ノ投票セムトシ又ハ投票シタル被選舉人ノ氏名ヲ表示ヲ求メタルトキハ三月以下ノ禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百十七條 選舉事務ニ關係アル官吏、吏員、立會人又ハ監視者選舉人ノ投票シタル被選舉人ノ氏名ヲ表示シタルトキハ二年以下ノ禁錮又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス其ノ表示シタル事實虛偽ナルトキ亦同シ

第百十八條 投票所又ハ開票所ニ於テ正當ノ事由ナクシテ選舉人ノ投票ニ關涉シ又ハ被選舉人ノ氏名ヲ認知スルノ方法ヲ行ヒタル者ハ一年以下ノ禁錮又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

法令ノ規定ニ依ラスシテ投票函ヲ開キ又ハ投票函中ノ投票ヲ取出シタル者ハ三年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

第百十九條 投票管理者、開票管理者、選舉長、立會人若ハ選舉監視者ニ暴行若ハ脅迫ヲ加ヘ、選舉會場、開票所若ハ投票所ヲ騷擾シ又ハ投票、投票函其ノ他關係書類ヲ抑留、毀壞若ハ奪取シタル者ハ四年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第百二十條 多衆聚合シテ第百十五條第一號又ハ前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 首魁ハ一年以上七年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス  
 二 他人ヲ指揮シ又ハ他人ニ率先シテ勢ヲ助ケタル者ハ六月以上五年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

三 附和隨行シタル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス  
 第百十五條第一號又ハ前條ノ罪ヲ犯ス爲多數聚合シ當該公務員ヨリ解散ノ命ヲ受クルコト三回以上ニ及フモ仍解散セザルトキハ首魁ハ二年以下ノ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス



第二百一十一條 選舉ニ關シ銃砲、刀劍、棍棒其ノ他人ヲ殺傷スルニ足ルヘキ物件ヲ攜帶シタル者ハ二年以下ノ禁錮又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

警察官吏又ハ憲兵ハ必要ト認ムル場合ニ於テ前項ノ物件ヲ領置スルコトヲ得

第二百二十二條 前條ノ物件ヲ攜帶シテ選舉會場、開票所又ハ投票所ニ入りタル者ハ三年以下ノ禁錮又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百二十三條 前二條ノ罪ヲ犯シタル場合ニ於テハ其ノ攜帶シタル物件ヲ沒收ス

第二百二十四條 選舉ニ關シ多衆集合シ若ハ隊伍ヲ組ミテ往來シ又ハ煙火、松明ノ類ヲ用ヒ若ハ鐘鼓、喇叭ノ類ヲ鳴ラシ旗幟其ノ他ノ標章ヲ用フル等氣勢ヲ張ルノ行爲ヲ爲シ警察官吏ノ制止ヲ受クルモ仍其ノ命ニ從ハサル者ハ六月以下ノ禁錮又ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百五條 演說又ハ新聞紙、雜誌、引札、張札其ノ他何等ノ方法ヲ以テスルニ拘ラス第二百二十六條 演說又ハ新聞紙、雜誌、引札、張札其ノ他何等ノ方法ヲ以テスルニ拘ラス左ノ各的ヲ以テ人ヲ煽動シタル者ハ一年以下ノ禁錮又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス但シ新聞紙及雜誌ニ在リテハ仍其ノ編輯人及實際編輯ヲ擔當シタル者ヲ罰ス

號ニ掲クル行爲ヲ爲シタル者ハ二年以下ノ禁錮又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス新聞紙及雜誌ニ在

リテハ前條但書ノ例ニ依ル

一 當選ヲ得又ハ得シムル目的ヲ以テ議員候補者ノ身分、職業又ハ經歷ニ關シ虛偽ノ事項ヲ公ニシタルトキ

二 當選ヲ得シメサル目的ヲ以テ議員候補者ニ關シ虛偽ノ事項ヲ公ニシタルトキ

第二百二十七條 選舉人ニ非サル者投票ヲ爲シタルトキハ一年以下ノ禁錮又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

氏名ヲ詐稱シ其ノ他詐僞ノ方法ヲ以テ投票ヲ爲シタル者ハ二年以下ノ禁錮又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

投票ヲ偽造シ又ハ其ノ數ヲ増減シタル者ハ三年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

選舉事務ニ關係アル官吏、吏員、立會人又ハ監視者前項ノ罪ヲ犯シタルトキハ五年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百二十八條 立會人正當ノ事故ナクシテ本法ニ定メタル義務ヲ缺クトキハ百圓以下ノ罰金ニ



處ス

第二百二十九條 第九十六條若ハ第九十八條ノ規定ニ違反シタル者又ハ第九十四條ノ規定ニ依ル命令ニ從ハサル者ハ一年以下ノ禁錮又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三百十條 第九十條第一項第二項ノ規定ニ依ル定數ヲ超エ若ハ第九十一條ノ規定ニ違反シテ選舉事務所ヲ設置シタル者又ハ第九十二條ノ規定ニ違反シテ休憩所其ノ他之ニ類似スル設備ヲ設ケタル者ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十三條ノ規定ニ依ル定數ヲ超エテ選舉委員又ハ選舉事務員ノ選任ヲ爲シタル者亦前項ニ同シ

第三百十一條 第八十九條第一項、第九十九條又ハ第九十條ノ規定ニ違反シタル者ハ六月以下ノ禁錮又ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三百十二條 第八十八條第五項乃至第七項又ハ第八十九條第四項ノ届出ヲ怠リタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三百十三條 選舉事務長又ハ選舉事務長ニ代リ其ニ職務ヲ行フ者第三百二條第二項ノ規定ニ依

リ告示セラレタル額ヲ超エ選舉運動ノ費用ヲ支出シ又ハ第三百一條第一項但書ノ規定ニ依ル承

諾ヲ與ヘテ支出セシメタルトキハ一年以下ノ禁錮又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス人並ニ之ハ

第三百十四條 第三百一條ノ規定ニ違反シテ選舉運動ノ費用ヲ支出シタル者ハ一年以下ノ禁錮ニ

處ス  
第三百十五條 左ノ各號ニ掲クル行爲ヲ爲シタル者ハ六月以下ノ禁錮又ハ三百圓以下ノ罰金ニ

處ス  
一 第三百五條ノ規定ニ違反シテ帳簿ヲ備ヘス又ハ帳簿ニ記載ヲ爲サス若ハ之ニ虚偽ノ記入ヲ

爲シタルトキ  
二 第三百六條第一項ノ届出ヲ怠リ又ハ虚偽ノ届出ヲ爲シタルトキ

三 第三百七條第一項ノ規定ニ違反シテ帳簿又ハ書類ヲ保存セサルトキ  
四 第三百七條第一項ノ規定ニ依リ保存スヘキ帳簿又ハ書類ニ虚偽ノ記入ヲ爲シタルトキ  
五 第三百八條ノ規定ニ依ル帳簿若ハ書類ノ提出若ハ検査ヲ拒ミ若ハ之ヲ妨ケ又ハ説明ノ求ニ



ヲ無効トス選舉事務長第一百十二條又ハ第一百十三條ノ罪ヲ犯シ刑ニ處セラレタルトキ亦同シ但シ選舉事務長ノ選任及監督ニ付相當ノ注意ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第三百三十七條 本章ニ掲クル罪ヲ犯シタル者ニシテ罰金ノ刑ニ處セラレタル者ニ在リテハ其ノ裁判確定ノ後五年間、禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ニ在リテハ其ノ裁判確定ノ後刑ノ執行ヲ終ル迄又ハ刑ノ時効ニ因ル場合ヲ除クノ外刑ノ執行ノ免除ヲ受クル迄ノ間及其ノ後五年間衆議院議員及選舉ニ付本章ノ規定ヲ準用スル議會ノ議員ノ選舉權及被選舉權ヲ有セス禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ニ付其ノ裁判確定ノ後刑ノ執行ヲ受クルコトナキニ至ル迄ノ間亦同シ

前項ニ規定スル者ト雖情狀ニ因リ裁判所ハ刑ノ言渡ト同時ニ前項ノ規定ヲ適用セス又ハ其ノ期間ヲ短縮スル旨ノ宣告ヲ爲スコトヲ得

第三百三十八條 第二百七條第三項及第四項ノ罪ノ時効ハ一年ヲ經過スルニ因リテ完成ス前項ニ掲クル罪以外ノ本章ノ罪ノ時効ハ六月ヲ經過スルニ因リテ完成ス但シ犯人逃亡シタルトキハ其ノ期間ハ一年トス

第十三章 補則

第三百三十九條 選舉ニ關スル費用ニ付テハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四百十條 議員候補者又ハ推薦届出者ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ選舉區内ニ在ル選舉人ニ對シ選舉運動ノ爲ニスル通常郵便物ヲ選舉人一人ニ付一通ヲ限り無料ヲ以テ差出スコトヲ得公立學校其ノ他勅令ヲ以テ定ムル營造物ノ設備ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ演說ニ依ル選舉運動ノ爲其ノ使用ヲ許可スヘシ

第四百十一條 選舉ニ關スル訴訟ニ付テハ本法ニ規定シタルモノヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル選舉ニ關スル訴訟ニ付テハ裁判所ハ他ノ訴訟ノ順序ニ拘ラス速ニ其ノ裁判ヲ爲スヘシ



用ニ付テハ之ヲ一町村、其ノ組合管理者ハ之ヲ町村長、其ノ組合役場ハ之ヲ町村役場ト看做ス

第四百四十五條 郡長ヲ置カサル地ニ於テハ本法中郡ニ關スル規定ハ島司又ハ北海道廳支廳長ノ管轄區域ニ、郡長ニ關スル規定ハ島司又ハ北海道廳支廳長ニ、郡役所ニ關スル規定ハ島廳又ハ北海道廳支廳ニ之ヲ適用ス

第四百四十六條 市ニ於テハ本法中市ニ關スル規定ハ區ニ、市長ニ關スル規定ハ區長ニ、市役所ニ關スル規定ハ區役所ニ之ヲ適用ス

第四百四十七條 町村制ヲ施行セサル地ニ於テハ本法中町村ニ關スル規定ハ町村ニ準スヘキモノニ、町村長ニ關スル規定ハ町村長ニ準スヘキ者ニ、町村役場ニ關スル規定ハ町村役場ニ準スヘキモノニ之ヲ適用ス

第四百四十八條 交通至難ノ島嶼其ノ他ノ地ニ於テ本法ノ規定ヲ適用シ難キ事項ニ付テハ勅令ヲ以テ特別ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第四百四十七條 第三十三條ノ規定ニ依ル投票ニ付テハ其ノ投票ヲ管理スヘキ者ハ之ヲ投票管理者、其ノ投票ヲ記載スヘキ場所ハ之ヲ投票所、其ノ投票ニ立會フヘキ者ハ之ヲ投票立會人ト

看做シ第十二章ノ規定ヲ適用ス

第四百四十八條 本法ノ適用ニ付テハ明治十三年第三十六號布告刑法ノ重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ之ヲ六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者、同法ノ禁錮ノ刑ニ處セラレタル者ハ之ヲ六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレタル者ト看做ス

第四百四十九條 明治十三年第三十六號布告刑法第二編第四章第九節ノ規定ハ衆議院議員ノ選舉

ニ關シテハ之ヲ適用セス

第四百五十條 本法ハ東京府小笠原島嶼北海道廳根室支廳管内占守郡、新知郡、得撫郡及色丹郡ニハ當分ノ内之ヲ施行セス

附 則

本法ハ次ノ總選舉ヨリ之ヲ施行ス

本法ニ依リ初テ議員ヲ選舉スル場合ニ於テ第十八條ノ規定ニ依リ難キトキハ勅命ヲ以テ別ニ總選舉ノ期日ヲ定ムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル總選舉ニ必要ナル選舉人名簿ニ關シ第十二條、第十三條、第十五條又ハ第十七條ニ規定スル期日又ハ期間ニ依リ難キトキハ勅令ヲ以テ別ニ其ノ期日又ハ期間ヲ定ム但シ其















第二區	第三區
尼崎市	加多郡
武庫郡	加西郡
川邊郡	多可郡
有馬郡	加東郡
津名郡	美囊郡
三原郡	明石市
明石市	明石市
三原郡	明石市
津名郡	明石市
有馬郡	明石市
川邊郡	明石市
武庫郡	明石市
尼崎市	明石市
五	三
八	八

第四區	第五區
飾磨市	多永郡
神崎郡	美上方郡
揖保郡	朝來郡
赤穂郡	養父郡
佐用郡	出石郡
栗原郡	出石郡
城崎郡	出石郡
宍粟郡	出石郡
出石郡	出石郡
養父郡	出石郡
朝來郡	出石郡
美上方郡	出石郡
多永郡	出石郡
多永郡	出石郡
三	三
八	八



長崎縣

第一區

長崎市 西彼杵郡 北高來郡 南高來郡 對馬島廳管內

五人

第二區

東彼杵郡 佐世保市 北松浦郡 南松浦郡 壹岐郡

四人

新潟縣

第一區

新潟市 西蒲原郡 佐渡郡

三人

第二區

北蒲原郡 中蒲原郡 東蒲原郡 岩船郡 長岡市

四人

第三區

南蒲原郡 三島郡 古志郡 北魚沼郡 南魚沼郡

五人

第四區

高田市 刈羽郡 中魚沼郡 東頸城郡

三人











栃木縣

奈良縣

第一區

猿島郡

四

第二區

結城郡

四

第三區

宇都宮市

四

第四區

河內郡

三

第五區

上都賀郡

五

第六區

上郡

五

第七區

鹽谷郡

五

三重縣

第一區

津市

三

第二區

四日市

三

第三區

桑名郡

三

第四區

員辨郡

三

第五區

三員郡

四

津市 四日市 桑名郡 員辨郡 三員郡 鈴鹿郡 河藝郡 安濃郡 一志郡 阿賀郡 名山郡 宇治山田市 飯南郡 多氣郡 度會郡 志摩郡



愛知縣

第一區

北牟婁郡  
南牟婁郡

四  
人

第二區

愛知郡  
名古屋市

五  
人

第三區

東春日井郡  
西春日井郡

三  
人

第四區

一宮市  
知多郡

五  
人

第五區

丹羽郡  
中島郡  
海部郡

三  
人

靜岡縣

第一區

北牟婁郡

四  
人

第二區

豐橋市

三  
人

第三區

東加茂郡  
西加茂郡

三  
人

第四區

南設樂郡  
北設樂郡

三  
人

第五區

寶飯郡  
八名郡

三  
人

靜岡縣

靜岡市  
清水市

五  
人











宮城縣

第一區	第二區	第三區	第四區
-----	-----	-----	-----

登米郡	栗原郡	玉造郡	遠田郡	志田郡	加美郡	黒川郡	宮城郡	名取郡	瓦理郡	伊具郡	柴田郡	刈田郡	仙臺市	北安曇郡	南安曇郡
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------	------

三 八	三 人	三 人	五 人	四 人	三 人
--------	--------	--------	--------	--------	--------

福島縣

第一區	第二區	第三區	第四區
-----	-----	-----	-----

北會津郡	南會津郡	岩瀨郡	若松市	安積郡	安達郡	伊達郡	信夫郡	郡山市	福島市	本吉郡	牡鹿郡	桃生郡
------	------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

正 人	三 人	三 人	三 人
--------	--------	--------	--------



青森縣												
第二區												
東	青	上	氣	東	西	江	膽	和	稗	二	九	下
津	森	閉	仙	磐	磐	刺	澤	賀	貫	戶	戶	閉
輕	市	伊	郡	井	井	郡	郡	郡	郡	郡	郡	伊
郡		郡	郡	郡	郡	郡	郡	郡	郡	郡	郡	郡
三												
八												

巖手縣												
第一區												
第三區												
第二區												
紫	巖	盛	相	雙	石	田	石	西	東	大	河	耶
波	手	岡	馬	葉	城	村	川	白	白	沼	沼	麻
郡	郡	市	郡	郡	郡	郡	郡	郡	郡	郡	郡	郡
三												
八												
五												
人												



										青森縣		第一區											
										弘前市		三戸郡		下北郡		上北郡							
										西津輕郡		中津輕郡		南津輕郡		北津輕郡							
										山形市		米澤市		南村山郡		東村山郡		西村山郡					
										鶴岡市		北村山郡		最上郡		東田川郡		西田川郡		飽海郡			
										南置賜郡		東置賜郡		西置賜郡		秋田市		鹿角郡		北秋田郡		山本郡	
										三人		五人		三人		三人		三人		四人			
										第一區		第二區		第一區		第二區		第一區		第二區			
										山形縣		第一區		第二區		第一區		第二區		第一區		第二區	

										青森縣		第一區											
										弘前市		三戸郡		下北郡		上北郡							
										西津輕郡		中津輕郡		南津輕郡		北津輕郡							
										山形市		米澤市		南村山郡		東村山郡		西村山郡					
										鶴岡市		北村山郡		最上郡		東田川郡		西田川郡		飽海郡			
										南置賜郡		東置賜郡		西置賜郡		秋田市		鹿角郡		北秋田郡		山本郡	
										三人		五人		三人		三人		三人		四人			
										第一區		第二區		第一區		第二區		第一區		第二區			
										山形縣		第一區		第二區		第一區		第二區		第一區		第二區	







鳥取縣  
島根縣

第一區

第二區

第三區

第四區

第五區

第六區

第七區

西瀨戶郡 四 人  
東瀨戶郡 四 人  
松江市 三 人  
八束郡 三 人  
能義郡 三 人  
仁多郡 三 人  
大原郡 五 人  
簸川郡 三 人  
隱岐島廳管内 三 人  
飯石郡 三 人  
安濃郡 三 人  
邇摩郡 三 人  
邑智郡 三 人  
那賀郡 三 人

岡山縣

第一區

第二區

第三區

第四區

第五區

美濃郡 五 人  
鹿足郡 四 人  
岡山市 四 人  
御津郡 三 人  
赤磐郡 三 人  
和氣郡 三 人  
邑久郡 三 人  
上道郡 三 人  
眞庭郡 三 人  
苦田郡 三 人  
勝田郡 三 人  
英田郡 三 人  
久米郡 三 人



廣島縣

第二區

第一區

高	山	安	佐	廣	阿	川	上	吉	後	小	淺	都	兒
田	縣	佐	伯	島	哲	上	房	備	月	田	口	窪	島
郡	郡	郡	郡	市	郡	郡	郡	郡	郡	郡	郡	郡	郡

五人

四人

第二區

第三區

比	雙	甲	神	蘆	深	沼	世	御	福	尾	豐	賀	安	吳
婆	三	奴	石	品	安	隈	羅	調	山	道	田	茂	藝	市
郡	郡	郡	郡	郡	郡	郡	郡	郡	市	市	郡	郡	郡	市

四人

五人



山口縣

第一區	第二區
-----	-----

下關市	宇部市	厚狹郡	豐浦郡	美禰郡	大津郡	阿武郡	大島郡	玖珂郡	熊毛郡	都濃郡	佐波郡	吉敷郡
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

四人	五人	四人	五人
----	----	----	----

和歌山縣

第一區	第二區	第三區
-----	-----	-----

和歌山市	海草郡	那賀郡	伊都郡	有田郡	日高郡	西牟婁郡	東牟婁郡	德島市	名東郡	勝浦郡	那賀郡
------	-----	-----	-----	-----	-----	------	------	-----	-----	-----	-----

三人	三人	三人	三人	三人
----	----	----	----	----



愛媛縣		
第二區	第一區	第二區
綾歌郡	仲多度郡	三豐郡
三	三	三
人	人	人
宇摩郡	新居郡	周桑郡
越智郡	今治市	喜多郡
上浮穴郡	伊豫郡	温泉郡
松山市	土佐郡	三豐郡
三	三	三
人	人	人

香川縣		
第一區	第二區	第三區
丸龜市	香川郡	小豆郡
木田郡	大川郡	高松市
三好郡	美馬郡	麻植郡
阿波郡	板野郡	名西郡
海部郡	三	三
三	三	三
人	人	人



高知縣

第三區	第二區	第一區	第一區	第二區
宇和島市	西宇和郡	東宇和郡	北宇和郡	南宇和郡
三	三	三	三	三
人	人	人	人	人

幡高吾土長香安高  
 多岡川佐岡美藝知  
 郡郡郡郡郡郡市

福岡縣

第一區	第二區	第三區	第四區	第五區
糟屋郡	宗像郡	朝倉郡	筑紫郡	早良郡
四	四	四	四	四
人	人	人	人	人

嘉鞍遠戶八若糸早筑朝宗糟福  
 穂手賀畑幡松島良紫倉像屋岡  
 郡郡郡市市市郡郡郡郡郡市











第一區	第二區	第三區	沖繩縣	北海道
揖宿郡	川邊郡	熊毛郡	日置郡	薩摩郡
出佐郡	伊佐郡	始良郡	贈良郡	肝屬郡
大島島	大島島	大島島	大島島	大島島
札幌市	札幌市	札幌市	札幌市	札幌市
五人	五人	五人	五人	五人

第一區	第二區	第三區	第四區
小樽市	旭川市	上川支應管内	宗谷支應管内
石狩支應管内	後志支應管内	留萌支應管内	函館市
檜山支應管内	渡島支應管内	室蘭市	空知支應管内
膽振支應管内	浦河支應管内	浦河支應管内	浦河支應管内
四人	四人	四人	五人



第五區

- 釧路市
- 河西支應管内
- 釧路國支應管内
- 根室支應管内
- 網走支應管内

本表ハ十年間ハ之ヲ更正セス

(附記) 本委員會議事ハ速記録ニ詳ナルヲ以テ茲ニ之ヲ略ス以下倣之

○委員長子爵渡邊千冬 休憩ヲ命ス

休憩 午後零時十一分

開會 午後一時五十五分

○委員長子爵渡邊千冬 開會ヲ宣告ス

○委員長子爵渡邊千冬 散會ヲ命ス

散會 午後四時十一分

第二回 大正十四年三月十二日

出席國務大臣

出席委員	委員長	子爵	渡邊千冬	副委員長	水野鍊太郎
委員	伯爵	林博太郎	同	子爵	大河内正敏
同	子爵	野村益三	同	子爵	裏松友光
同	同	大久保利武	同	同	富谷銚太郎
同	同	寺田榮	同	同	荒川義太郎
同	同	小松謙次郎	同	同	内田嘉吉
同	同	福原鐐二郎	同	男爵	南岩倉具威
同	男爵	斯波忠三郎	同	同	勝田主計
同	男爵	二條正麿	同	男爵	矢吹省三
同	同	澤柳政太郎	同	同	阪本鈺之助
同	同	高田早苗	同	同	小池靖一
同	同	樺山資英	同	同	花井卓藏



出席政府委員

內務大臣 若槻禮次郎  
 司法大臣 小川平吉  
 法制局長官 塚本清治  
 內務政務次官 片岡直温  
 內務參與官 鈴木富士彌  
 內務省地方局長 潮岩惠之輔  
 內務省警保局長 川崎卓吉  
 內務書記官 赤木義朝治  
 司法政務次官 熊谷直太  
 司法省刑事局長 山岡萬之助  
 開會 午前十時十二分  
 ○委員長子爵渡邊千冬 開會ヲ宣告ス  
 ○委員長子爵渡邊千冬 休憩ヲ命ス

休憩 午後零時三分

開會 午後一時三十九分

○委員長子爵渡邊千冬 開會ヲ宣告ス

○委員長子爵渡邊千冬 散會ヲ命ス

散會 午後三時十一分

第三回 大正十四年三月十三日

出席委員

委員長 子爵 渡邊 千冬	副委員長	水野 鍊太郎
委員 伯爵 林 博太郎	伯爵 松平 賴壽	
同 子爵 大河内 正敏	子爵 野村 益三	
同 子爵 裏松 友光	同 大久保 利武	
同 富谷 銚太郎	同 寺田 榮	
同 荒川 義太郎	同 小松 謙次郎	
同 内田 嘉吉	同 武富 時敏	



同	福原 錄二郎	同	男爵	南岩 倉具威
同	斯波 忠三郎	同	男爵	二條 正麿
同	矢吹 省三	同		澤柳 政太郎
同	阪本 鈺之助	同		高田 早苗
同	小池 靖一	同		樺山 資英
同	花井 卓藏			
出席國務大臣				
出席委員				
第二出席政府委員 三月十三日				
同	內務 大臣			若槻 禮次郎
同	法制 局長官			塚本 清治
同	內務 政務次官			片岡 直温
同	內務 參與官			鈴木 富士彌
同	內務 省地方局長			潮 惠之輔
同	內務 書記官			赤木 朝治

開會 午前十時十六分					司法政務次官	熊谷 直太
○委員長子爵渡邊千冬 開會ヲ宣告ス						
○委員長子爵渡邊千冬 休憩ヲ命ス						
休憩 午後零時三分						
開會 午後一時四十五分						
○委員長子爵渡邊千冬 開會ヲ宣告ス						
○委員長子爵渡邊千冬 散會ヲ命ス						
散會 午後三時六分						
第四回 大正十四年三月十四日						
出席委員						
委員長	子爵 渡邊 千冬	副委員長		水野 鍊太郎		
委員	伯爵 林 博太郎	同	子爵	大河内 正敏		
同	子爵 野村 益三	同	子爵	裏松 友光		







委員	伯爵	林	博太郎	同	伯爵	松平	賴壽
同	子爵	大河內	正敏	同	子爵	野村	益三
同	子爵	三裏	友光	同		大久保	利武
同	子爵	富谷	銚太郎	同		寺田	榮
同	子爵	荒川	義太郎	同		小松	謙次郎
同	子爵	內田	嘉吉	同		福原	鏗二郎
同	男爵	南岩	倉具威	同	男爵	斯波	忠三郎
同	男爵	二條	正麿	同	男爵	矢吹	省三
同	男爵	澤柳	政太郎	同		阪本	鈺之助
同	男爵	高田	早苗	同		小池	靖一
同	男爵	樺山	資英	同		花井	卓藏

出席國務大臣

內務大臣

若槻禮次郎

出席政府委員

法制局長官	塚本	清治
內務參與官	鈴木	富士彌
內務省地方局長	潮	惠之輔
內務省警保局長	川崎	卓吉

開會 午前十一時十五分

○委員長子爵渡邊千冬 開會ヲ宣告ス

○委員長子爵渡邊千冬 休憩ヲ命ス

休憩 午後零時二十一分

開會 午後一時五十三分

○委員長子爵渡邊千冬 開會ヲ宣告ス

○委員長子爵渡邊千冬 散會ヲ命ス

散會 午後四時五分

第六回

出席委員



委員長	子爵	渡邊千冬	副委員長	水野鍊太郎
委員	伯爵	林博太郎	伯爵	松平頼壽
同	子爵	大河内正敏	子爵	野村益三
同	子爵	裏松友光	同	大久保利武
同	同	富谷銚太郎	同	寺田榮
同	同	荒川義太郎	同	小松謙次郎
同	同	内田嘉吉	同	福原録二郎
同	男爵	南岩倉具威	同	男爵
同	男爵	二條正麿	同	男爵
同	同	澤柳政太郎	同	同
同	同	高田早苗	同	同
同	同	樺山資英	同	同
出席國務大臣			內務大臣	若槻禮次郎

出席政府委員

法制局長官	塚本清治
內務參與官	鈴木富士彌
內務省地方局長	潮惠之輔
內務省警保局長	川崎卓吉
內務書記官	赤木朝治
司法參與官	岩崎幸治郎
司法省刑事局長	山岡萬之助

- 開會 午前十時二十七分
- 委員長子爵渡邊千冬 開會ヲ宣告ス
- 委員長子爵渡邊千冬 休憩ヲ命ス
- 休憩 午後零時十一分
- 開會 午後一時四十三分
- 委員長子爵渡邊千冬 開會ヲ宣告ス



○委員長子爵渡邊千冬 散會ヲ命ス

散會 午後四時十一分

第七回 大正十四年三月十八日

出席委員

委員長	子爵 渡邊 千冬	副委員長	水野 鍊太郎
委員	伯爵 二林 博太郎	同	伯爵 松平 頼壽
同	子爵 野村 益三	同	子爵 裏松 友光
同	大久保 利武	同	富谷 銈太郎
同	寺田 榮	同	荒川 義太郎
同	小松 謙次郎	同	内田 嘉吉
同	福原 鏡二郎	同	男爵 南岩 倉具威
同	男爵 斯波 忠三郎	同	男爵 二條 正磨
同	男爵 矢吹 省三	同	澤柳 政太郎
同	阪本 鈺之助	同	高田 早苗

同	小池 靖一	同	樺山 資英
同	花井 卓藏		

出席國務大臣

	內務大臣	若槻 禮次郎
	司法大臣	小川 平吉

出席政府委員

法制局長官	塚本 清治
內務參與官	鈴木 富士彌
內務省地方局長	潮 惠之輔
內務省警保局長	川崎 卓吉
司法政務次官	熊谷 直太
司法省刑事局長	山岡 萬之助
遞信參與官	植原 悅二郎

開會 午前十時二十分



○委員長子爵渡邊千冬 開會ヲ宣告ス

○委員長子爵渡邊千冬 休憩ヲ命ス

休憩 午後零時五分

開會 午後一時四十五分

○委員長子爵渡邊千冬 開會ヲ宣告ス

○委員長子爵渡邊千冬 散會ヲ命ス

散會 午後四時二十四分

第八回 大正十四年三月二十二日

出席委員

委員長	子爵	渡邊千冬	副委員長	水野鍊太郎
委員	伯爵	林博太郎	伯爵	松平頼壽
同	子爵	大河内正敏	子爵	野村益三
同	子爵	裏松友光	同	大久保利武
同		富谷銚太郎	同	寺田榮

同 荒川義太郎 同 小松謙次郎

同 内田嘉吉 同 福原隼二郎

同 男爵 南岩倉具威 同 男爵 斯波忠三郎

同 男爵 二條正麿 同 男爵 矢吹省三

同 澤柳政太郎 同 阪本鈺之助

同 高田早苗 同 宮田光雄

同 小池靖一 同 樺山資英

同 花井卓藏

開會 午後二時二十五分

○委員長子爵渡邊千冬 開會ヲ宣告ス

懇談會ニ入ル

○委員長子爵渡邊千冬 散會ヲ命ス

散會 午後三時四十三分

(附記一) 同日委員小松謙次郎ハ衆議院議員選舉法改正法律案ノ審査ノ進行ヲ圖ル爲特別委員



中ヨリ小委員ヲ選出シ其ノ人數及氏名ハ委員長ニ一任スヘシト發議シタリ委員會ハ異議ナク其ノ發議ヲ可決シタルヲ以テ委員長子爵渡邊千冬ハ正副委員長ヲ別トシテ十一名ヲ指名セリ

○委員長	子爵 渡邊 千冬	副委員長	水野 鍊太郎
○委員	伯爵 林 博太郎	伯爵 松平 賴壽	伯爵 野村 益三
	子爵 大河内 正敏	子爵 大久保 利武	同 富谷 銈太郎
	同 裏松 友光	同 荒川 義太郎	同 内田 嘉吉
	同 石原 健三	同 南岩 倉具威	同 内田 嘉吉
	同 寺田 榮	同 二條 正麿	同 澤柳 政太郎
	同 小松 謙次郎	同 澤柳 政太郎	
	同 福原 鏢二郎		
	同 斯波 忠三郎		
	同 矢吹 省三		
	同 男爵 矢吹 省三		
	同 男爵 斯波 忠三郎		
	同 男爵 福原 鏢二郎		
	同 男爵 小松 謙次郎		
	同 男爵 寺田 榮		
	同 男爵 裏松 友光		
	同 男爵 大河内 正敏		
	同 男爵 林 博太郎		
	同 男爵 渡邊 千冬		

(附記二) 衆議院議員選舉法改正法律案特別委員會ノ小委員ハ大正十四年三月二十二日、同年

三月二十三日ノ二回會議ヲ開キ審査ヲ遂ケタリ

第九回 大正十四年三月二十四日

出席委員

委員長	子爵 渡邊 千冬	副委員長	水野 鍊太郎
委員	伯爵 林 博太郎	伯爵 松平 賴壽	伯爵 野村 益三
	子爵 大河内 正敏	子爵 大久保 利武	同 富谷 銈太郎
	同 裏松 友光	同 荒川 義太郎	同 内田 嘉吉
	同 石原 健三	同 南岩 倉具威	同 内田 嘉吉
	同 寺田 榮	同 二條 正麿	同 澤柳 政太郎
	同 小松 謙次郎	同 澤柳 政太郎	
	同 福原 鏢二郎		
	同 斯波 忠三郎		
	同 矢吹 省三		
	同 男爵 矢吹 省三		
	同 男爵 斯波 忠三郎		
	同 男爵 福原 鏢二郎		
	同 男爵 小松 謙次郎		
	同 男爵 寺田 榮		
	同 男爵 裏松 友光		
	同 男爵 大河内 正敏		
	同 男爵 林 博太郎		
	同 男爵 渡邊 千冬		







貴族院議長公爵德川家達殿

子爵 渡邊 千冬

(附記一) 別冊中修正條項ノミヲ掲ク小字ハ修正文、——ハ削除ノ符號ナリ

第六條 左ニ掲クル者ハ選舉權及被選舉權ヲ有セス

- 一 禁治産者及準禁治産者
- 二 破産者ニシテ復權ヲ得サル者  
生活ノ爲公私ノ救助ヲ受ケ又ハ扶助ヲ受ケル者
- 三 貧困ノ爲公私ノ救恤ヲ受クル者
- 四 一定ノ住居ヲ有セサル者
- 五 六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者
- 六 刑法第二編第一章、第三章、第九章、第十六章乃至第二十一章、第二十五章又ハ第三十章乃至第三十九章ニ掲クル罪ヲ犯シ六年未滿ノ懲役ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受クルコトナキニ至リタル後其ノ刑期ノ二倍ニ相當スル期間ヲ經過スルニ至ル迄ノ者但シ其ノ期間五年ヨリ短キトキハ五年トス
- 七 六年未滿ノ禁錮ノ刑ニ處セラレ又ハ前號ニ掲クル罪以外ノ罪ヲ犯シ六年未滿ノ懲役ノ刑

ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受クルコトナキニ至ル迄ノ者

第七條 華族ノ戶主ハ選舉權及被選舉權ヲ有セス

陸海軍軍人ニシテ現役中ノ者(未タ入營セサル者及歸休下士官兵ヲ除ク)及戰時若ハ事變ニ際シ召集中ノ者ハ選舉權及被選舉權ヲ有セス兵籍ニ編入セラレタル學生生徒(勅令ヲ以テ定ムル者ヲ除ク)及志願ニ依リ國民軍ニ編入セラレタル者亦同シ

第十二條 町村長ハ毎年九月十五日ノ現在ニ依リ其ノ日迄引續キ<sup>一年</sup>六月以上其ノ町村内ニ住居ヲ有スル者ノ選舉資格ヲ調査シ選舉人名簿二本ヲ調製シ十月十五日迄ニ之ヲ郡長ニ送付スヘシ郡長ハ町村長ヨリ送付シタル名簿ヲ調査シ其ノ修正スヘキモノハ修正ヲ加ヘ一本ハ十月三十一日迄ニ之ヲ町村長ニ返付スヘシ市長ハ毎年九月十五日ノ現在ニ依リ其ノ日迄引續キ<sup>一年</sup>六月以上其ノ市内ニ住居ヲ有スル者ノ選舉資格ヲ調査シ十月三十一日迄ニ選舉人名簿ヲ調製スヘシ第一項又ハ前項ノ住居ニ關スル要件ヲ具備セサル選舉人ハ選舉人名簿ニ登録セラルルコトヲ得ス  
選舉人名簿ニハ選舉人ノ氏名、住居及生年月日等ヲ記載スヘシ



第一項又ハ第三項ノ住居ニ關スル期間ハ行政區畫變更ノ爲中斷セラルルコトナシ

第三十三條

勅令ヲ以テ指定スル業務ニ從事スル選舉人ニシテ勅令ノ定ムル業務上ノ事由ニ因

リ選舉ノ當日其ノ投票區内ニ在ラサル爲自ラ投票所ニ到リ投票ヲ爲シ能ハサルヘキコトヲ證  
スル者ノ投票ニ關シテハ第二十五條、第二十六條、第二十七條第一項、第二十九條但書及第三  
十一條ノ規定ニ拘ラス勅令ヲ以テ特別ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第七十五條

左ニ掲クル事由ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ更ニ選舉ヲ行フコトナクシテ當選人

ヲ定メ得ルトキヲ除クノ外地方長官ハ選舉ノ期日ヲ定メ少クトモ十四日前ニ之ヲ告示シ更ニ  
選舉ヲ行ハシムヘシ但シ同一人ニ關シ左ニ掲クル其ノ他ノ事由ニ依リ又ハ第七十九條第五項  
ノ規定ニ依リ選舉ノ期日ヲ告示シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

- 一 當選人ナキトキ又ハ當選人其ノ選舉ニ於ケル議員ノ定數ニ達セサルトキ
- 二 當選人當選ヲ辭シタルトキ又ハ死亡者ナルトキ
- 三 當選人第七十條ノ規定ニ依リ當選ヲ失ヒタルトキ
- 四 第八十一條又ハ第八十三條ノ規定ニ依リ訴訟ノ結果當選人ナキニ至リ又ハ當選人其ノ選  
舉ニ於ケル議員ノ定數ニ達セサルニ至リタルトキ

五 當選人第八十四條ノ規定ニ依リ訴訟ノ結果當選無効ト爲リタルトキ

六 當選人第三百三十六條ノ規定ニ依リ當選無効ト爲リタルトキ

第七十九條。議員ニ闕員ヲ生スルモ其ノ闕員ノ數同一選舉區ニ於テ二人ニ達スル迄ハ補闕選舉

ハ之ヲ行ハス

。議員ニ闕員ヲ生シタルトキハ内務大臣ハ議院法第八十四條ノ規定ニ依リ衆議院議長ノ通牒  
ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ地方長官ニ對シ其ノ旨ヲ通知スヘシ

地方長官ハ前項ノ規定ニ依ル通知ヲ受ケタルトキハ其ノ闕員ト爲リタル議員カ第七十四條ノ  
規定ニ依ル當選承諾届出ノ期限前ニ於テ闕員ト爲リタル者ナル場合ニ於テ第六十九條第一項  
但書ノ得票者ニシテ當選人ト爲ラザリシ者アルトキ又ハ其ノ期限經過後ニ於テ闕員ト爲リタ  
ル者ナル場合ニ於テ第六十九條第二項ノ規定ノ適用ヲ受ケタル得票者ニシテ當選人ト爲ラザ  
リシ者アルトキハ直ニ議員闕員ト爲リタル旨ヲ選舉長ニ通知スヘシ

選舉長ハ前項ノ規定ニ依ル通知ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ第六十九條第四項乃至第六項  
ノ規定ヲ準用シ當選人ヲ定ムヘシ

地方長官ハ第一項ノ規定ニ依ル通知ヲ受ケタル場合ニ於テ第二項ノ規定ノ適用アルトキ及同



一人ニ關シ第七十五條ノ規定ニ依リ選舉ノ期日ヲ告示シタルトキヲ除クノ外第一項ノ規定ニ依ル通知ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ補闕選舉ヲ行ハシムヘシ

補闕選舉ノ期日ハ地方長官少クトモ十四日前ニ之ヲ告示スヘシ  
第七十五條第二項乃至第四項ノ規定ハ補闕選舉ニ之ヲ準用ス

第三百二十六條 當選人其ノ選舉ニ關シ本章ニ掲クル罪ヲ犯シ刑ニ處セラレタルトキハ其ノ當選ヲ無効トス選舉事務長第百十二條又ハ第百十三條ノ罪ヲ犯シ刑ニ處セラレタルトキ亦同シ但シ選舉事務長ノ選任及監督ニ付相當ノ注意ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

(附記二) 道府縣會、市會及勅令ヲ以テ指定シタル議會ノ議員選舉ニ關シ衆議院議員選舉法中

一部ノ規定準用ニ關スル法律案ハ本院ニ於テ之ヲ議決スルニ至ラスシテ議會ノ閉會ト

委員長 子爵 渡邊 千冬印

副委員長 水野 鍊太郎印

委員長 子爵 渡邊 千冬印  
副委員長 水野 鍊太郎印

商業會議所法中改正法律案特別委員會

委員選舉

○大正十四年三月二日議長ノ指名ヲ以テ商業會議所法中改正法律案特別委員ヲ選定スルコト左ノ如シ

委員

侯爵 德川 甚園 順

服部 善一 三

子爵 松平 直平

子爵 永井 尙敏

男爵 北大路 實信

男爵 黒川 幹太郎

高橋 琢也

桑原 善吉

西川 甚五郎



○大正十四年三月十二日委員長及副委員長ヲ互選ス其ノ結果左ノ如シ

委員長 侯爵 德川 圀順

副委員長 服部 一三

會議

第一回 大正十四年三月十六日

出席委員

委員長 侯爵 德川 圀順 副委員長 服部 一三

委員 子爵 松平 直平 同 子爵 永井 尙敏

同 男爵 北大路 實信 同 男爵 黒川 幹太郎

同 桑原 善吉 同 西川 甚五郎

出席政府委員

○大正十四年三月十二日開會ノ時ニ農商務參與官 堀切善兵衛

開會 午後四時三十分

○委員長侯爵德川圀順 開會ヲ宣告ス

(參照)

○商業會議所法中改正法律案

商業會議所法中左ノ通改正ス

第九條第五號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

六 營業稅ヲ納ムル旅館業者

○委員 附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○委員長侯爵德川圀順 本案ニ對スル政府ノ所見ヲ説明アラムコトヲ求ム

○政府委員堀切善兵衛 時代ノ進運ニ伴ヒ商業會議所法ニ適當ノ改正ヲ加ヘルコトニハ政府モ同

意セリ改正案ニ依レハ旅館業者ニモ選舉權、被選舉權ヲ與フルモノニシテ其ノ理由トスル處ハ

從來旅館業者ハ商法第二百六十四條第七項ノ「客ノ來集ヲ目的トスル場屋ノ取引云々」ニ該當ス

ルモノトシテ之ヲ除外シタルハ營業者ノ品性、人格等モ考慮セサルヘカラスト爲シタルニ在リ

今日ニ於テハ之ヲ除外スルノ理由ナクナリシニ由ル

○委員服部一三 客ノ來集ヲ目的トスルト謂フ意ハ如何



- 政府委員堀切善兵衛 商法第二百六十四條第七項ノ規定ニシテ旅館業者ハ之ニ該當スルモノトシテ從來選舉權、被選舉權ヲ與ヘサリシナリ
- 委員服部一三 今日ニ於テモ然リヤ
- 政府委員堀切善兵衛 旅館業者ヲ商法第二百六十四條第七項ニ該當セシメテ選舉權ヲ與ヘサルハ少シ無理ナル規定ト思ハレサルニアラス殊ニ旅館業者トシテハ營業稅ヲ納メ居レリ
- 委員服部一三 大劇場ノ持主ハ如何
- 政府委員堀切善兵衛 料理店、待合、貸席等モ此ノ内ニ包含セシメタリ此等ハ尙考慮スル餘地アリト信ス
- 委員男爵北大路實信 近キ將來ニ商業會議所議員ノ選舉方法ヲ改正スル意志ナキヤ
- 政府委員堀切善兵衛 早晚改正スルコトハ必要ナリト認ム選舉方法ハ現在ニ於テハ任意ニシテ或ハ連記制或ハ二級、三級制ト謂フヤウニ頗ル複雑ニ爲リ居リ故ニ或程度マテ之ヲ統一スル必要アリト考ヘ居レリ
- 委員桑原善吉 今日マテ何故ニ旅館業者ニ課稅セサリシヤ
- 政府委員堀切善兵衛 課稅シ居レリ

- 委員桑原善吉 商業會議所ノ費用ヲ課セサリシハ何故カ
  - 政府委員堀切善兵衛 原案ノ趣旨ハ選舉權ヲ與ヘルカ否カノ問題ナリ
  - 委員桑原善吉 從來何故選舉權ヲ與ヘサリシヤ
  - 政府委員堀切善兵衛 商法第二百六十四條第七項ニ該當スルモノハ一括シテ、之レハ商工業トノ關係カ密接ニアラスト爲シタリ尙之ニ加フルニ該從業者ノ品性、人格等ノ點モ從來考慮シテ與ヘサリシモノノ如シ
  - 委員桑原善吉 商業ニ非ス工業ニ非スト謂フ意味ヨリ出タルモノカ
  - 政府委員堀切善兵衛 然リ
  - 委員長侯爵徳川圀順 他ニ質疑ナキニ依リ討議ニ移ル旨ヲ宣告ス
  - 委員長侯爵徳川圀順 本案ヲ表決ニ付ス
- 可 決
- 委員長侯爵徳川圀順 散會ヲ命ス
- 散會 午後四時四十分
- (附記) 同日議長ニ提出シタル委員長ノ報告左ノ如シ







○大正十四年三月十二日 特別委員會  
 第一回 大正十四年三月十二日  
 會議  
 副委員長 子爵 西尾忠方  
 小林八右衛門

出席委員

委員長	服部 一三	副委員長子爵	西尾忠方
委員 侯爵	細川 護立	同	男爵 木越安綱
同	子爵 牧野 忠篤	同	男爵 村上敬次郎
同	土方 寧	同	西野 一元
同	小林 八右衛門		

出席政府委員

○大正十四年三月十二日 特別委員會  
 鐵道政務次官 鐵道參與官  
 委員 鐵道 古屋慶隆

特別委員會 午前十時五十分開會

○委員長服部一三 開會ヲ宣告ス

(參照)

議院法中改正法律案

議院法中左ノ通改正ス

第十九條ノ二 各議院ノ議長副議長及議員ハ別ニ定ムル所ノ規定ニ從ヒ無賃ニテ國有鐵道ニ乘

車スルコトヲ得

附則

○本法ハ大正十四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

○委員子爵西尾忠方 鐵道關係以外ノ者ニ對シテハ無賃乗車券發行ノ整理ヲナス考ヘナリヤ

○政府委員俵孫一 然リ

○委員子爵西尾忠方 此ノ法律案ヲ提出スルハ無賃乗車券發行ノ整理ヲ否認スルモノニアラスヤ

○政府委員俵孫一 否然ラス議員ニ對シテハ大臣ノ自由裁量ノ外ニ置キ法律的根據ニ依ルコトカ

至當ナリト考ヘ法律案トナシタルモノト認ム

○委員子爵西尾忠方 議員ニ對シ無賃乗車券ヲ發行スルノ例外國ニ之レアリヤ



- 政府委員俵孫一 北米合衆國ハ發行セサレトモ獨逸ハ發行セリ佛蘭西モ發行スレトモ議員一名ニ付百二十「フラン」ヲ出シテ議員バヌヲ受クルナリ伊太利ハ會期中發行ス白耳義ハ任期中發行ス西班牙ハ總選舉ノ際ノミ發行ス瑞典諾威ハ議會開催地ト議員住所地トノ間ノミ發行ス加奈太ハ發行セス
- 委員土方寧 行政處分ニ依リ發行セル例アリヤ
- 政府委員俵孫一 調査シタルモノナキモ白耳義ハ憲法ニテ規定シ伊太利ハ成文上ノ根據ナシ
- 委員子爵西尾忠方 此ノ改正案中「別ニ定ムル規則」トアルカ如何ナルコトヲ規定スル考ヘナリヤ
- 政府委員俵孫一 汽車賃ヲ與ヘスシテ乗車券ヲ與ヘルコト無賃乗車券ノ種類等ヲ規定スル考ヘナリ
- 委員子爵西尾忠方 此ノ改正案ハ乗車シ得ル鐵道ノ範圍ヲ擴張スルモノナリヤ否ヤ
- 政府委員俵孫一 擴張セス從來ト異ナラス
- 委員土方寧 乗車券亂發ヲ矯正スルコトハ可ナルモ乗車券ヲ與フルコトヲ相當ト認ムル人々ニ對シ法律ニ依リテ之ヲ與ヘテハ如何

○政府委員俵孫一 此ノ改正案ノ外別ニ出ス考ヘナシ

○委員長服部一三 質問終了シタルニ依リ討論ニ移ルヘキ旨ヲ宣告ス

○委員土方寧 今後法律ヲ以テ乗車券ヲ交付スヘキ者ノ範圍ヲ限定セラレムコトヲ望ム本案ニ對シテハ賛成ヲ表ス

○委員長服部一三 本案ヲ表決ニ付ス

可決

○委員長服部一三 散會ヲ命ス

散會 午前十一時四十五分

(附記) 同日議長ニ提出シタル委員長ノ報告左ノ如シ

議院法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十四年三月十二日

委員長 俵孫一  
 委員 右特別委員長 西尾忠方  
 服部一三

貴州省長公署川案表題



貴族院議長公爵徳川家達殿

委員長 公爵 服部 一三 印

副委員長 子爵 西尾 忠方 印

大正十四年三月十二日、發行ニ由リ、議院法中改正法律案(衆第四號)特別委員會、

委員長 公爵 服部 一三 印

副委員長 子爵 西尾 忠方 印

委員 公爵 近衛 文麿

委員 侯爵 佐佐木 行忠

委員 伯爵 大木 遠吉

委員 伯爵 小笠原 長幹

委員 子爵 青木 信光

委員 子爵 牧野 忠篤

委員 子爵 牧野 忠篤

貴族院令中改正案特別委員會

議院法中改正法律案特別委員會

貴族院令第六條ノ議員選舉ニ付衆議院議員選舉法中罰則ノ規定準用ニ關スル法律案特別委員會

(附記) 右各特別委員會會議録ハ便宜之ヲ一括ス

委員選舉

○大正十四年三月十日議長ノ指名ヲ以テ貴族院令中改正案、議院法中改正法律案、貴族院令第六條ノ議員選舉ニ付衆議院議員選舉法中罰則ノ規定準用ニ關スル法律案特別委員ヲ選定スルコト左ノ如シ

公爵 近衛 文麿

侯爵 佐佐木 行忠

伯爵 大木 遠吉

伯爵 小笠原 長幹

子爵 青木 信光

子爵 牧野 忠篤



委員長 子爵 前田 利定  
 子爵 水野 直  
 子爵 八條 隆正  
 子爵 岡野 敬次郎  
 子爵 鈴木 喜三郎  
 子爵 石塚 英藏  
 男爵 阪谷 芳郎  
 男爵 船越 光之丞  
 男爵 藤村 義朗  
 男爵 池田 長康  
 倉知 鐵吉  
 鎌田 榮吉  
 菅原 通敬  
 西久保 弘道

○大正十四年三月十日議員選舉中開議、財部案、關稅案、  
 貴族院令改正案、特別委員會

○大正十四年三月十日議員選舉中開議、財部案、關稅案、  
 貴族院令改正案、特別委員會

出選委員 永田 秀次郎  
 馬場 鏝一  
 佐竹 三吾  
 鎌田 勝太郎  
 矢口 長右衛門  
 横山 三章

委員長及副委員長選舉  
 ○大正十四年三月十二日委員長及副委員長ヲ互選ス其ノ結果左ノ如シ  
 委員長 公爵 近衛 文麿  
 副委員長 男爵 岡野 敬次郎

第一回 大正十四年三月十二日  
 出席委員 公爵 近衛 文麿  
 副委員長 男爵 岡野 敬次郎



委員	侯爵	佐佐木行忠	同委員	伯爵	小笠原長幹
出同委員	子爵	青木信光	同	子爵	前田利定
第一回同大五十四年三月二日野		直	同	子爵	八條隆正
同	伯爵	鈴木喜三郎	同		石塚英藏
同	男爵	阪谷芳郎	同委員	男爵	藤村義朗
同	男爵	池田長康	同委員	伯爵	倉知鐵吉
○大五十年三月二十二日		鎌田榮吉	同委員	伯爵	菅原通敬
同委員		西久保弘道	同		永田秀次郎
同		馬場鏌一	同		佐竹三吾
同		鎌田勝太郎	同		矢口長右衛門
同		横山章			
出席國務大臣			內閣總理大臣	子爵	加藤高明
出席政府委員					

內閣書記官長 江木翼

開會 午前十時二十二分

○委員長公爵近衛文麿 開會ヲ宣告ス

(参照)

貴族院令改正案

貴族院令中左ノ通改正ス

第一條第五號ヲ左ノ如ク改ム

五 特殊ノ官又ハ職ニ在ル者ヨリ特ニ勅任セラレタル者

六 北海道各府縣ニ於テ土地或ハ工業商業ニ付直接國稅年額三百圓以上ヲ納ムル者ノ中ヨリ

一人又ハ二人互選シテ勅任セラレタル者

第三條中「滿二十五歲」ヲ「滿三十歲」ニ改メ同條ニ左ノ二項ヲ加フ

前項ノ議員ハ勅許ヲ得テ議員タルコトヲ辭スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ議員タルコトヲ辭シタル者ハ勅命ニ依リ再ヒ議員トナルコトヲ得

第四條中「滿二十五歲」ヲ「滿三十歲」ニ改メ同條第二項及第三項ヲ左ノ如ク改ム



前項議員ノ定數ハ伯爵十八人、子爵六十六人、男爵六十六人トス、  
第五條ニ左ノ二項ヲ加フ

第一項ノ議員身體又ハ精神ノ衰弱ニ因リ職務ニ堪ヘサルニ至リタルトキハ貴族院ニ於テ其ノ

旨ヲ議決シ上奏シテ勅裁ヲ請フヘシ

前項ノ議決ニ關ル規則ハ貴族院ニ於テ之ヲ議決シ上奏シテ裁可ヲ請フヘシ

第五條ノ二 左ニ掲クル官又ハ職ニ在ル者ニシテ勅任セラレタル者ハ其ノ官又ハ職ニ在ル間議

員タルヘシ

朝鮮總督

臺灣總督

關東長官

檢事總長

○委員 行政裁判所長官

帝國大學總長其ノ他大學ノ長

帝國學士院長

日本銀行總裁

前項議員ノ數ハ十五人ヲ超過スヘカラス

帝國學士院會員中ヨリ四人ヲ互選シ其ノ選ニ當リ勅任セラレタル者ハ其ノ會員タルノ間七箇

年ノ任期ヲ以テ議員タルヘシ其ノ選舉ニ關ル規則ハ別ニ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第六條 北海道各府縣ニ於テ滿四十歲以上ノ男子ニシテ土地或ハ工業商業ニ付直接國稅年額三

百圓以上ヲ納ムル者ノ中ヨリ一人又ハ二人ヲ互選シ其ノ選ニ當リ勅任セラレタル者ハ七箇年

ノ任期ヲ以テ議員タルヘシ其ノ選舉ニ關ル規則ハ別ニ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

前項議員ノ總數ハ六十六人以内トシ其ノ北海道各府縣ニ於ケル定數ハ通常選舉毎ニ人口ニ應

ジ勅命ヲ以テ之ヲ指定ス

第七條 削除

第十條第一項ヲ左ノ如ク改ム

議員ニシテ禁錮以上ノ刑ニ處セラレ又ハ破産ノ宣告ヲ受ケ確定シタル者アルトキハ勅命ヲ以

テ之ヲ除名スヘシ

附則



本令中第四條ノ改正規定並第一條第六號及第六條ノ改正規定ハ各大正十四年ニ於テ行フ通常選舉ヨリ之ヲ施行シ其ノ他ノ改正規定ハ其ノ最初ニ行フ通常選舉ノ期日ヨリ之ヲ施行ス  
第三條ノ改正規定施行ノ際現ニ第一條第二號ノ規定ニ依リ議員タル者ハ第三條第一項ノ改正規定ニ拘ラス議員タルヘシ

從前ノ第一條第五號ノ規定ニ依リ勅任セラレタル議員ニシテ大正十四年ニ於テ任期終了スヘキ者ノ任期ハ仍從前ノ規定ニ依ル其ノ任期ノ終了カ同年ニ於テ行フ同條第六號ノ改正規定ニ依ル議員ノ通常選舉ノ期日ヨリ前ナル場合ニ於テハ其ノ期日ノ前日迄任期ヲ延長ス  
議院法中改正法律案

議院法中左ノ通改正ス  
第四十條ニ左ノ一項ヲ加フ  
豫算案カ貴族院ニ移サレタルトキハ豫算委員ハ其ノ院ニ於テ受取リタル日ヨリ二十一日以内ニ審査ヲ終リ議院ニ報告スヘシ

貴族院令第六條ノ議員選舉ニ付衆議院議員選舉法中罰則ノ規定準用ニ關スル法律案  
貴族院令第六條ノ議員選舉ニ關シテハ勅令ノ定ムル所ニ依リ衆議院議員選舉法中罰則ノ規定ヲ

準用ス但シ第三百三十六條ノ規定ハ此ノ限ニ在ラス

附則

本法ハ大正十四年ニ於テ行フ通常選舉ヨリ之ヲ施行ス

本法施行ノ際大正十四年ノ改正ニ係ル衆議院議員選舉法未タ施行セラレサル場合ニ於テハ本法ノ適用ニ付テハ同法ハ既ニ施行セラレタルモノト看做ス

(附記) 本委員會議事ハ速記録ニ詳ナルヲ以テ茲ニ之ヲ略ス以下倣之

○委員長公爵近衛文麿 散會ヲ命ス

散會 午後零時四分

第二回 大正十四年三月十三日

出席委員

副委員長	岡野敬次郎	委員	侯爵	佐佐木行忠
同	伯爵 小笠原長幹	同	子爵	青木信光
同	子爵 牧野忠篤	同	子爵	前田光利
同	子爵 水野直	同	子爵	八條隆正



同 鈴木喜三郎 同 石塚英藏  
 同 男爵 阪谷芳郎 同 男爵 船越光之丞  
 同 男爵 藤村義朗 同 男爵 池田長康  
 同 倉知鐵吉 同 鎌田木榮吉  
 同 同委員 松本烝治 同 菅原通敬  
 同 同大五十四 西久保弘道 同 永田秀次郎  
 同 同 馬場 鏌一 同 佐竹 三吾  
 ○委員 同 鎌田勝太郎 同 矢口長右衛門  
 ○同 本委員 會 橫山 章  
 出席國務大臣 同 內閣總理大臣 子爵 加藤 高明  
 出席政府委員 同 內閣書記官長 江 木 翼  
 開會 午後一時四十九分

○副委員長岡野敬次郎 開會ヲ宣告ス

○副委員長岡野敬次郎ニ散會ヲ命ス

散會 午後三時五十一分

第三回 大正十四年三月十四日

○出席委員 開會

副委員長	岡野敬次郎	委員	佐佐木行忠
同	伯爵 小笠原長幹	同	青木信光
同	子爵 牧野忠篤	同	前田利定
同	子爵 水野直	同	八條隆正
同	鈴木喜三郎	同	石塚英藏
同	男爵 阪谷芳郎	同	船越光之丞
同	男爵 藤村義朗	同	池田長康
同	倉知鐵吉	同	鎌田榮吉
同	松本烝治	同	菅原通敬



同 西久保弘道 同 永田秀次郎  
 同 馬場 鏊一 同 佐竹三吾  
 同 鎌田勝太郎 同 矢口長右衛門  
 同 横山 章 同 藤 英 齋  
 出席國務大臣 鈴木喜三郎 同 藤 英 齋  
 出席政府委員 內閣總理大臣 子爵 加藤高明  
 同 內閣書記官長 子爵 江口木 翼  
 開會 午後一時二十七分 散會 午後四時二分  
 ○副委員長岡野敬次郎 開會ヲ宣告ス  
 ○副委員長岡野敬次郎 散會ヲ命ス  
 散會 午後四時二分  
 第四回 大正十四年三月十六日  
 出席委員

副委員長 岡野敬次郎 委員 侯爵 佐佐木行忠  
 同 伯爵 小笠原長幹 同 子爵 青木喜信光  
 同 子爵 前田利定 同 子爵 水野 直  
 同 子爵 八條隆正 同 子爵 鈴木喜三郎  
 同 男爵 石塚英藏 同 男爵 阪谷芳郎  
 同 男爵 船越光之丞 同 男爵 藤村義朗  
 出席委員 男爵 池田長康 同 倉知 鐵吉  
 同 鎌田 榮吉 同 松本 丞治  
 同 菅 通敬 同 西久保弘道  
 同 永田 秀次郎 同 馬場 鏊一  
 同 佐竹 三吾 同 鎌田勝太郎  
 同 矢口長右衛門 同 横山 章  
 出席國務大臣 內閣總理大臣 子爵 加藤高明



出席政府委員

出席國務大臣

開會 午後一時三十二分

內閣書記官長

江木三翼

○副委員長岡野敬次郎 開會ヲ宣告ス

三

同

藤田謙太郎

○副委員長岡野敬次郎 散會ヲ命ス

夫

同

田中義一

散會 午後三時五十一分

夫

同

青木繁

第五回 大正十四年三月十七日

夫

同

青木繁

出席委員

委員長 公爵 近衛 文麿

副委員長 伯爵 岡野敬次郎

委員 侯爵 佐佐木行忠

同 子爵 青木 信光

同 伯爵 小笠原長幹

同 子爵 前田 利定

同 子爵 八條 隆正

同 伯爵 水野 直

同 子爵 鈴木喜三郎

同 子爵 石塚 英藏

同 伯爵 阪谷 芳郎

同 子爵 鈴木喜三郎

同 子爵 石塚 英藏

同 伯爵 阪谷 芳郎

同 子爵 鈴木喜三郎

同 男爵 船越 光之丞

同 男爵 藤村 義朗

同 男爵 池田 長康

同 男爵 倉知 鐵吉

同 鎌田 榮吉

同 松本 丞治

同 菅原 通敬

同 西久保 弘道

同 永田 秀次郎

同 馬場 鏊一

同 佐竹 三吾

同 鎌田 勝太郎

同 矢口 長右衛門

同 鎌田 勝太郎

出席國務大臣

出席政府委員

出席國務大臣

出席政府委員

出席國務大臣

出席政府委員

出席國務大臣

出席政府委員

出席國務大臣

出席政府委員

出席國務大臣

出席政府委員

出席國務大臣

出席政府委員

出席國務大臣

○副委員長岡野敬次郎 開會ヲ宣告ス  
○副委員長岡野敬次郎 散會ヲ命ス















大正十四年三月二十五日告示

貴族院令中改正案

右特別委員副委員長

岡野敬次郎

貴族院議長公爵德川家達殿

（附記）別冊中修正條項ノミヲ掲ク小字ハ修正文、——ハ削除ノ符號ナリ

第一條第五號ヲ左ノ如ク改ム

五 特殊ノ官又ハ職ニ在ル者ヨリ特ニ勅任セラレタル者

六 北海道各府縣ニ於テ土地或ハ工業商業ニ付。直接國稅年額三百圓以上ヲ納ムル者ノ中ヨ

第八條リ一人又ハ二人ヲ互選シテ勅任セラレタル者

第五條ノ二。左ニ掲クル官又ハ職ニ在ル者ニシテ勅任セラレタル者ハ其ノ官又ハ職ニ在ル間議

員タルヘシ

朝鮮總督

臺灣總督

關東長官

濱田 資 大 淵

朝鮮總督

臺灣總督

關東長官

岡野 敬 次 郎

濱田 資 大 淵

朝鮮總督

臺灣總督

關東長官

大檢事總長 三井 二十五日

行政裁判所長官

帝國大學總長其ノ他大學ノ長

帝國學士院長

日本銀行總裁

前項議員ノ數ハ十五人ヲ超過スヘカラス

帝國學士院會員。中ヨリ四人ヲ互選シ其ノ選ニ當リ勅任セラレタル者ハ其ノ會員タルノ間

七箇年ノ任期ヲ以テ議員タルヘシ其ノ選舉ニ關ル規則ハ別ニ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第六條。北海道各府縣ニ於テ滿四十歲以上ノ男子ニシテ土地或ハ工業商業ニ付。直接國稅年額

三百圓以上ヲ納ムル者。ノ中ヨリ一人又ハ二人ヲ互選シ其ノ選ニ當リ勅任セラレタル者ハ七

箇年ノ任期ヲ以テ議員タルヘシ其ノ選舉ニ關ル規則ハ別ニ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

前項議員ノ總數ハ六十六人以内トシ其ノ北海道各府縣ニ於ケル定數ハ通常選舉毎ニ人口ニ應

シ勅令ヲ以テ之ヲ指定ス

貴族院令中改正法律案







右別冊ノ通正モ依テ及報告候也

大正十四年三月二十五日

副委員長 岡 理 雄 大 須 明  
委員 長 公 田 茂 徳 文 徳 明

、應田ニ付テハ同若ハ同ニ減付ナモノヤハチハイ存留ス

本者銀計ノ額大五十四年ノ五五ニ付テハ衆議院議員選舉法未々減付ナモノヤハ聯合ニ付テハ本者

本者ハ大五十四年ニ付テハ重常選舉モリニ減付ス

第四十 期

第四十 期 一頁ヲ附  
單田ノ額ノ額百三十六額ノ額ニ付テハ、院ニ於テ受取リタル日ヨリ二十一日以内

貴族院令第六號ノ額員選舉ニ關シテハ、院令ノ額員ニ付テハ衆議院議員選舉法中關聯ノ額員

(附冊) 附冊中額員選舉ノ額員ニ付テハ、院令ノ額員ニ付テハ衆議院議員選舉法中關聯ノ額員

貴族院令第六號ノ額員選舉ニ付テハ、衆議院議員選舉法中關聯ノ規定適用ニ關スル法律案

右別冊ノ通正モ依テ及報告候也

大正十四年三月二十五日

法律院委員區委員

岡 理 雄 大 須

治安維持法案特別委員會

委員選舉

委員 長 公 田 茂 徳 文 徳 明  
副委員長 岡 理 雄 大 須 明  
委員 長 公 田 茂 徳 文 徳 明

○大正十四年三月十一日議長ノ指名ヲ以テ治安維持法案特別委員ヲ選定スルコト左ノ如シ

出席委員

第一回 大正十四年三月十三日

會 籍

文 部 大 臣	大 須 明	公 爵	二 條 厚 基
司 法 省 長	岡 理 雄	伯 爵	堀 田 正 恒
司 法 省 副 長	大 須 明	男 爵	大 井 成 元
司 法 省 審 判 長	岡 理 雄	子 爵	伊 東 祐 弘
司 法 省 審 判 官	大 須 明	子 爵	大 河 内 輝 耕
司 法 省 審 判 官	岡 理 雄	子 爵	板 倉 勝 憲
司 法 省 審 判 官	大 須 明	男 爵	田 健 治 郎
司 法 省 審 判 官	岡 理 雄	男 爵	渡 邊 高 暢
司 法 省 審 判 官	大 須 明	男 爵	岡 喜 七 郎
司 法 省 審 判 官	岡 理 雄	男 爵	千 秋 季 隆
司 法 省 審 判 官	大 須 明	男 爵	福 原 俊 丸

出席政府委員

○大正十四年三月十二日委員區委員長ノ指名ヲ以テ治安維持法案特別委員ヲ選定スルコト左ノ如シ

委員區委員長選舉

第一回 大正十四年三月十三日

○委員區委員長選舉ニ關シテハ、院令ノ額員ニ付テハ衆議院議員選舉法中關聯ノ規定適用ニ關スル法律案

(附冊)

治安維持法案







治安維持法

第一條 國體ヲ變革シ又ハ私有財産制度ヲ否認スルコトヲ目的トシテ結社ヲ組織シ又ハ情ヲ知  
委員リテ之ニ加入シタル者ハ十年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

前項ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第二條 前條第一項ノ目的ヲ以テ其ノ目的タル事項ノ實行ニ關シ協議ヲ爲シタル者ハ七年以下  
ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第三條 第二條第一項ノ目的ヲ以テ其ノ目的タル事項ノ實行ヲ煽動シタル者ハ七年以下ノ懲役  
又ハ禁錮ニ處ス

第四條 第一條第一項ノ目的ヲ以テ騷擾、暴行其ノ他生命、身體又ハ財産ニ害ヲ加フヘキ犯罪  
ヲ煽動シタル者ハ十年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第五條 第一條第一項及前三條ノ罪ヲ犯サシムルコトヲ目的トシテ金品其ノ他ノ財産上ノ利益  
ヲ供與シ又ハ其ノ申込若ハ約束ヲ爲シタル者ハ五年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス情ヲ知以テ供  
與ヲ受ケ又ハ其ノ要求若ハ約束ヲ爲シタル者亦同シ

第六條 前五條ノ罪ヲ犯シタル者自首シタルトキハ其ノ刑ヲ減輕又ハ免除ス

第七條 本法ハ何人ヲ問ハズ本法施行區域外ニ於テ犯シタル者ニ亦之ヲ適用ス

附則 大正十二年勅令第四百三號ハ之ヲ廢止ス

(附記) 本委員會議事ハ速記録ニ詳ナルヲ以テ茲ニ之ヲ略ス以下倣之

○委員長公爵二條厚基 休憩ヲ命ス  
出 休憩 午前十一時五十五分

○委員長公爵二條厚基 開會ヲ宣告ス  
開會 午後一時四十五分

○委員長公爵二條厚基 散會ヲ命ス  
散會 午後四時十分

出席委員	公爵	二條	厚基	副委員長男爵	田	健治郎
委員	男爵	大	井内成	祐	弘	



同 男爵 大河内輝耕 同 子爵 板倉勝憲

同 男爵 渡邊 同 岡喜七郎

同 男爵 千秋隆丸 同 男爵 福原俊丸

同 男爵 三黒四田長和 同 湯地幸平

同 男爵 萬助

○委員出席國務大臣

○委員出席國務大臣 兼會マ命ス

○委員出席國務大臣 兼會マ命ス

○委員出席國務大臣 兼會マ命ス

○委員出席國務大臣 兼會マ命ス

○委員出席國務大臣 兼會マ命ス

○委員出席國務大臣 兼會マ命ス

○委員出席國務大臣 兼會マ命ス

○委員出席國務大臣 兼會マ命ス

○委員出席國務大臣 兼會マ命ス

散會 午後零時五分 東 藤 憲 同 子爵 大河内輝耕

第三回 大正十四年三月十六日 會 五 計 同 男爵 大 井 成 元

出席委員 公爵 二 條 厚 基 副委員長男爵 田 地 健 治 郎

第四回 委員大員十伯爵三 堀 正 恒 同 男爵 大 井 成 元

同 子爵 三 東 祐 弘 同 子爵 大 河 内 輝 耕

○委員同爵二 子爵 板 倉 勝 憲 同 渡 邊 大 暢

○委員同爵二 子爵 岡 喜 七 郎 同 男爵 千 秋 季 隆

同 會 子男爵 四 福 二 原 俊 丸 同 男爵 黒 田 長 和

同 會 子男爵 湯 地 幸 平 同 湯 地 幸 平

○委員出席國務大臣 兼會マ命ス

○委員出席國務大臣 兼會マ命ス

○委員出席國務大臣 兼會マ命ス

○委員出席國務大臣 兼會マ命ス

出席政府委員十 川 崎 萬 卓 吉



出開會午前十時二十六分

○委員長公爵二條厚基 開會ヲ宣告ス

○委員長公爵二條厚基 休憩ヲ命ス

休憩 午後零時二分

開會 午後一時四十二分

○委員長公爵二條厚基 開會ヲ宣告ス

○委員長公爵二條厚基 散會ヲ命ス

散會 午後四時二十三分

第四回 大正十四年三月十七日

出席委員

委員長 公爵 二條 厚基

副委員長 伯爵 三堀 六田 正恒

同 伯爵 正伊 東 祐弘

司法省刑事局長

山岡萬之助

同

小川平吉

同

土田萬也

同

黒田具味

同

黒田具味

同

大内内藏

同

大井成元

同

田健治郎

同

大河内輝耕

同

子爵

同

伯爵

同

伯爵

同 子爵 板倉 勝憲

同 伯爵 岡田 喜七郎

同 男爵 福原 俊丸

同 南 弘

大同十四年三月十七日 田 萬助

同 渡邊 暢

同 男爵 千秋 季隆

同 男爵 黒田 長和

同 湯地 幸平

出席國務大臣

內務大臣 若槻禮次郎

文部大臣 岡田良平

司法大臣 小川平吉

○委員長公爵二條厚基 開會ヲ宣告ス

開會 午前十一時三十七分

○委員長公爵二條厚基 開會ヲ宣告ス

內務省警保局長 川崎 卓吉

司法省刑事局長 山岡萬之助



○委員長公爵二條厚基 休憩ヲ命ス

休憩 午後零時四十一分

開會 午後二時五分

○委員長公爵二條厚基 開會ヲ宣告ス

○委員長公爵二條厚基 散會ヲ命ス

散會 午後二時五十六分

(附記) 同日議長ニ提出シタル委員長ノ報告左ノ如シ

治安維持法案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十四年三月十七日

右特別委員長

公爵 二條厚基

貴族院議長公爵徳川家達殿

委員長 公爵 二條厚基 印

副委員長 男爵 田 健治郎 印



○委員長及副委員長選舉

開會 午後二時五分

○委員長及副委員長選舉ノ實施ス

○委員長及副委員長選舉ノ結果

午後二時五十六分

開會 同日開會ニ出席シタル委員長ノ報告ニノ如シ

治安維持法案

大正十四年三月十七日

委員長 山田 準太郎

副委員長 中川 久任

齒科醫師法中改正法律案特別委員會

委員選舉

○大正十四年三月七日議長ノ指名ヲ以テ齒科醫師法中改正法律案特別委員ヲ選定スルコト左ノ如シ

內務省書記官	山田 準太郎
內務省書記官	侯爵 鍋島 直映
內務省書記官	伯爵 中川 久任
子爵	吉田 清風
男爵	今園 英國正
男爵	高木 喜寬
三宅 秀	岡田 文次
金杉英五郎	阿部 秀逸

委員長及副委員長選舉

○大正十四年三月十三日委員長及副委員長ヲ互選ス其ノ結果左ノ如シ

委員長 山田 準太郎

副委員長 中川 久任



○大正十四年三月十三日委員會議  
委員長 伯爵 中川 久任  
副委員長 三宅 秀

會議

第一回 大正十三年三月十三日

出席委員

委員長	伯爵	中川	久任	副委員長	三宅	秀
委員	侯爵	鍋島	直映	同	子爵	吉田
同	男爵	高木	喜寬	同	同	清風
同	同	阿部	秀逸	同	同	金杉
出席政府委員				同	同	英五郎

出席說明員

內務政務次官 片岡 直温

出席說明員

山田 準次郎

○大正十四年三月十三日委員會議  
委員長 伯爵 中川 久任  
副委員長 三宅 秀  
委員 侯爵 鍋島 直映  
同 男爵 高木 喜寬  
同 同 阿部 秀逸  
出席政府委員  
出席說明員 內務政務次官 片岡 直温  
出席說明員 山田 準次郎

○委員長伯爵中川久任 開會ヲ宣告ス

(參照)

齒科醫師法中改正法律案

齒科醫師法中左ノ通改正ス

第二條第一號ヲ左ノ如ク改メ第二號ヲ削リ第三號ヲ第二號ニ改ム

一 六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者

第三條中「禁錮」ノ上ニ「六年未滿ノ懲役若ハ」ヲ加フ

第四條ノ二 命令ヲ以テ定ムルモノヲ除クノ外齒科醫師ニ非サレハ齒科診察所治療所若ハ技工

所ノ開設又ハ管理ヲ爲スコトヲ得ス

第六條中「齒科醫師」ノ下ニ「又ハ齒科診察所若ハ治療所ノ首長」ヲ加フ

第七條中「學位及稱號」ヲ「學位稱號及專門科名」ニ改ム

第八條 齒科醫師ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ道府縣齒科醫師會ヲ設立スヘシ

道府縣齒科醫師會ハ日本齒科醫師會ヲ設立スルコトヲ得

齒科醫師ハ土地ノ狀況ニ依リ郡市齒科醫師會ヲ設立スルコトヲ得



道府縣齒科醫師會日本齒科醫師會及郡市齒科醫師會ハ法人トシ勅令ノ定ムル所ニ依リ齒科醫事衛生ノ改良發達ヲ圖ルヲ目的トス

第九條 道府縣齒科醫師會ハ道府縣ヲ區域トス、  
公立ノ診察所若ハ治療所又ハ其ノ出張所ニ於テ診察及治療ニ從事スル齒科醫師ハ其ノ診察所治療所又ハ出張所ノ所在地ヲ區域トスル道府縣齒科醫師會ノ會員トス

第九條ノ二 日本齒科醫師會ハ内地ヲ區域トス

日本齒科醫師會ハ道府縣齒科醫師會ヲ以テ會員トス

第九條ノ三 郡市齒科醫師會ハ勅令ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外郡市ヲ區域トス

第九條第二項ノ規定ハ郡市齒科醫師會ニ之ヲ準用ス

第九條ノ四 道府縣齒科醫師會日本齒科醫師會若ハ郡市齒科醫師會ハ會員ヨリ徵收スヘキ收入

ニ關シテハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第九條ノ五 道府縣齒科醫師會日本齒科醫師會及郡市齒科醫師會ノ設立ノ手續機關ノ組織經費ノ負擔監督會員ノ懲戒其ノ他必要ナル事項ニ關シテハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十條第一項中「第一號又ハ第三號」ヲ「各號ノ一」ニ改メ同條第二項中「齒科醫師」ノ下ニ「六年

未滿ノ懲役又ハレヲ加ヘ同條第三項中「第三號」ヲ「第二號」ニ改ム

第十一條第一項ヲ左ノ如ク改ム

左ニ掲クル者ハ五百圓以下ノ罰金又ハ十圓以上ノ科料ニ處ス

一 免許ヲ受ケスシテ齒科醫業ヲ爲シタル者

二 停止中齒科醫業ヲ爲シタル者

三 第四條ノ二第五條第六條若ハ第七條ニ違背シタル者

第十一條ノ二 醫師ニシテ特ニ内務大臣ノ許可ヲ受ケ齒科専門ヲ標榜シ又ハ齒科醫業中金屬充填、鑲嵌、義齒、齒冠繼續及架工、齒列矯正、口蓋補綴ノ技術ニ屬スル行爲ヲ爲ス者ハ第四條ノ二第八條第一項第三項第九條第二項及第九條ノ三第二項ノ適用ニ付テハ之ヲ齒科醫師ト看做ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法ノ適用ニ付テハ明治十三年第三十六號布告刑法ノ重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ同法ノ禁錮ノ刑ニ處セラレタル者ハ六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ニ處セラレタ



ルモノト看做ス

本法施行ノ際現ニ存スル齒科醫師會ハ本法施行ノ日ヨリ六月内仍從前ノ例ニ依ルコトヲ得

(附記) 本委員會議事ハ速記録ニ詳ナルヲ以テ茲ニ之ヲ略ス以下做之

○委員長伯爵中川久任 散會ヲ命ス

散會 午前十一時十一分

第二回 大正十四年三月十七日

出席委員

委員長 伯爵 中川久任 副委員長 宅中秀

委員 侯爵 鍋島直映 同 子爵 吉田清風

同 男爵 今園貞 同 男爵 高木喜寛

同 岡田文次 同 金杉英五郎

同 阿部秀逸

出席政府委員

内務政務次官 片岡直温

出席説明員

内務省衛生局長 山田準次郎

開會 午前十時三十四分

○委員長伯爵中川久任 開會ヲ宣告ス

○委員長伯爵中川久任 散會ヲ命ス

散會 午前十一時十七分

(附記) 同日議長ニ提出シタル委員長ノ報告左ノ如シ

齒科醫師法中改正法律案

右別冊ノ通修正セリ依テ及報告候也

大正十四年三月十七日

右特別委員長

伯爵 中川久任

貴族院議長公爵徳川家達殿

(附記) 別冊中修正條項ノミヲ掲ク小字ハ修正文、——ハ削除ノ符號ナリ







(附記) 日本無線電信株式會社法案ハ大正十四年三月十六日連繫事件トシテ其ノ審査ヲ船舶無線電信施設法案特別委員ニ付託セラル

委員長及副委員長選舉

○大正十四年三月十三日委員長及副委員長ヲ互選ス其ノ結果左ノ如シ

委員長	侯爵	大隈	信常
副委員長	淺田	德則	

會議

第一回 大正十四年三月十三日

出席委員

○大正十四年三月十三日	侯爵	大隈	信常	副委員長	淺田	德則
委員	子爵	五辻	治仲	同	男爵	郷誠之助
(同)	男爵	伊藤	文吉	同		橋本圭三郎
日本無線同	同	鍋島	桂次郎	同		平尾喜三郎
鐵道同	同	手保	太郎			

出席國務大臣

出席政府委員

遞信大臣 犬入養毅  
 遞信省參與官 植原悅二郎  
 遞信省通信局長 山崎敏行  
 遞信省管船局長 宮崎清則

○委員長侯爵大隈信常 開會ヲ宣告ス

(參照)

船舶無線電信施設法案

船舶無線電信施設法

第一條 左ノ各號ノ一ニ該當スル日本船舶ハ無線電信ノ施設ナクシテ遠洋航路又ハ近海航路ニ於テ之ヲ航行セシムルコトヲ得ス但シ航海ノ目的其ノ他ノ事情ニ依リ己ムコトヲ得スト認メラルルトキハ主務大臣ハ期間ヲ指定シ其ノ施設ナクシテ之ヲ航行ノ用ニ供セシムルコトヲ得



一 總噸數二千噸以上ノ船舶  
 二 五十人以上ノ人員ヲ搭載スル船舶  
 前項第二號ノ人員ハ旅客ニ付テハ旅客定員ニ依リ之ヲ算定ス  
 傷病船員ノ補充、海難救助其ノ他己ムコトヲ得サル事由ニ因リ臨時ニ搭載シタル人員ハ之ヲ  
 第一項第二號ノ人員中ニ算入セス  
 第一項第二號ノ船舶ニシテ總噸數二千噸未滿ノモノニ付テハ主務大臣ハ別段ノ規定ヲ設クル  
 コトヲ得  
 第二條 當該官吏ハ無線電信施設ノ検査ヲ行フ爲必要アルトキハ何時ニテモ船舶ニ臨檢シ又ハ  
 其ノ航行ノ停止ヲ命スルコトヲ得  
 第三條 船舶所有者又ハ船長カ本法、本法ニ基キテ發スル命令又ハ前條ノ航行停止ノ命令ニ違  
 反シテ船舶ヲ航行セシメタルトキハ千圓以下ノ罰金ニ處ス  
 前項ノ規定ニ該當スル船舶所有者カ未成年者若ハ禁治産者ナル場合又ハ法人ナル場合ニ於テ  
 其ノ者ニ適用スヘキ罰則ハ其ノ法定代理人又ハ法令ノ規定ニ依リテ法人ヲ代表スル者ニ之ヲ  
 適用ス

第四條 正當ノ事由ナクシテ當該官吏ノ臨檢ヲ拒ミ妨ケ若ハ忌避シ又ハ其ノ尋問ニ對シ答辯ヲ  
 爲サス虚偽ノ陳述ヲ爲シタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス  
 第五條 本法ニ於テ船舶所有者ニ關スル規定ハ船舶共有ノ場合ニ在リテハ之ヲ船舶管理人ニ、  
 船舶賃貸借ノ場合ニ在リテハ之ヲ船舶賃借人ニ適用シ船長ニ關スル規定ハ之ヲ船長ニ代リテ  
 其ノ職務ヲ行フ者ニ適用ス  
 第六條 本法ハ日本船舶ニ非サル船舶ニシテ本法施行地内ノ港ニ出入スルモノニ之ヲ準用ス  
 附則  
 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム  
 日本無線電信株式會社法案  
 日本無線電信株式會社法  
 第一條 日本無線電信株式會社ハ外國無線電報ノ取扱ノ爲ニスル無線電信ノ設備及其ノ附屬設  
 備ヲ爲シ之ヲ政府ノ用ニ供スルコトヲ目的トスル株式會社トス  
 第二條 日本無線電信株式會社ハ前條ニ定ムルモノノ外主務大臣ノ命令ニ依リ又ハ其ノ認可ヲ  
 受ケ左ノ事業ヲ營ムコトヲ得



- 一 外國ニ於ケル無線電信事業及無線電話事業ノ經營
- 二 外國ニ於ケル無線電信又ハ無線電話ノ設備ノ貸付及工事ノ請負
- 三 無線電信又ハ無線電話ノ用品ノ製造及販賣
- 四 前三號ニ掲クル事業ニ對スル投資
- 第三條 日本無線電信株式會社ノ資本金ハ二千萬圓トス但シ主務大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ增加スルコトヲ得
- 第四條 日本無線電信株式會社ノ存立期間ハ設立登記ノ日ヨリ五十年トス但シ主務大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ延長スルコトヲ得
- 第五條 日本無線電信株式會社ノ株式ハ記名式トシ政府、公共團體、帝國臣民又ハ帝國法令ニ依リテ設立シタル法人ニシテ其ノ議決權ノ過半數カ外國人又ハ外國法人ニ屬セサルモノニ限リ之ヲ所有スルコトヲ得
- 第六條 政府ハ外國無線電報ノ取扱ノ爲ニスル國有ノ無線電信局設備及其ノ附屬設備並無線電信局設置ノ爲購入シタル土地ヲ以テ出資ノ目的ト爲スコトヲ得
- 第七條 第一條ニ掲クル設備ニ依リテ取扱ハルヘキ電報ノ受付、配達及機械上ノ送受信ノ事務

- 第八條 政府ハ日本無線電信株式會社ノ設備ヲ使用シ之ニ依リテ取扱ヒタル電報ノ料金中本邦收得分ニ當ルモノノ一部ヲ勅令ノ定ムル所ニ依リ該設備使用ニ對シ日本無線電信株式會社ニ交付ス
- 第九條 每營業期ニ於テ配當シ得ヘキ利益金額カ拂込資本金額ニ對シ一年百分ノ十二ノ割合ヲ超過スルトキハ日本無線電信株式會社ハ該超過額ノ二分ノ一ヲ政府ニ納付スヘシ
- 第十條 日本無線電信株式會社ハ其ノ創立初期ヨリ十年間政府持株ニ對シ利益配當ヲ爲スコトヲ要セス
- 每營業期ニ於テ配當シ得ヘキ利益金額カ政府持株以外ノ株式拂込資本金額ニ對シ一年百分ノ八ノ割合ヲ超過スルトキハ該超過額ニ付テハ前項ノ規定ニ拘ラス政府ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ持株ニ對シ利益配當ヲ爲サシムルコトヲ得但シ創立初期ヨリノ配當シ得ヘキ利益金額ヲ通算シ政府持株以外ノ株式ノ拂込資本金額ニ對シ一年百分ノ八ノ割合ニ達セサルトキハ此ノ限ニ在ラス
- 前項但書ニ規定スル利益金額中政府持株ニ對シ配當シタル金額アルトキハ之ヲ控除シテ計算



ス

第十一條 政府ハ日本無線電信株式會社ノ業務ヲ監督ス

第十二條 主務大臣ハ日本無線電信株式會社ノ業務ニ關シ監督上必要ナル命令ヲ爲シ又ハ外國無線電報ノ取扱上必要ナル無線電信ノ設備若ハ其ノ附屬設備ヲ爲スヘキコトヲ命スルコトヲ得

日本無線電信株式會社カ前項ノ規定ニ依リテ主務大臣ノ命シタル設備ヲ爲スコトヲ怠リタルトキハ第八條ノ規定ニ依ル交付金ノ一部ヲ交付セサルコトヲ得

第十三條 取締役及監査役ノ選任及解任、定款ノ變更、利益金ノ處分、社債ノ募集、合併並解散ノ決議ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ効力ヲ生セス

主務大臣ハ取締役カ法令、定款又ハ主務大臣ノ命令ニ違反シタルトキハ之ヲ解任スルコトヲ得

第十四條 日本無線電信株式會社ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ所有スル無線電信ノ設備又ハ其ノ附屬設備ニ屬スル物件ヲ讓渡シ又ハ擔保ニ供スルコトヲ得ス

第十五條 政府カ勅令ノ定ムル所ニ依リ相當ノ價格ヲ以テ日本無線電信株式會社ノ所有スル無

線電信ノ設備及其ノ附屬設備ノ全部又ハ一部ヲ買收セムトスルトキハ會社ハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第十六條 日本無線電信株式會社左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ取締役又ハ其ノ職務ヲ行フ監査役ヲ百圓以上千圓以下ノ過料ニ處ス

一 主務大臣ノ命令ニ依リ又ハ其ノ認可ヲ受ケタルニ非スシテ第二條ニ掲クル事業ヲ營ミタルトキ

二 主務大臣ノ命令ニ違反シタルトキ

三 本法ニ規定セサル事業ヲ營ミタルトキ

非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前項ノ過料ニ之ヲ準用ス

附 則

第十七條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十八條 政府ハ設立委員ヲ命シ日本無線電信株式會社ノ設立ニ關スル一切ノ事務ヲ處理セシム

第十九條 設立委員ハ定款ヲ作成シ主務大臣ノ認可ヲ受ケタル後株式總數ヨリ政府ニ割當ツヘ



キ株式ヲ控除シタル殘餘ノ株式ニ付株主ヲ募集スヘシ

第二十條 株式申込證ニハ定款認可ノ年月日並商法第二百二十六條第二項第二號、第四號及第五號ニ規定スル事項ヲ記載スヘシ

第二十一條 設立委員ハ株主ノ募集ヲ終リタルトキハ株式申込證ヲ主務大臣ニ提出シ其ノ検査ヲ受クヘシ

第二十二條 設立委員ハ前條ノ検査ヲ受ケタル後遲滯ナク各株式ニ付第一回ノ拂込ヲ爲サシムルコトヲ要ス

前項ノ拂込アリタルトキハ設立委員ハ遲滯ナク創立總會ヲ招集スヘシ

第二十三條 創立總會終結シタルトキハ設立委員ハ其ノ事務ヲ日本無線電信株式會社ノ取締役ニ引渡スヘシ

(附記) 本委員會議事ハ速記録ニ詳ナルヲ以テ茲ニ之ヲ略ス以下概之

○委員長侯爵大隈信常 散會ヲ命ス

散會 午前十一時十一分

(附記) 同日議長ニ提出シタル委員長ノ報告左ノ如シ

船舶無線電信施設法案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十四年三月十三日

出席委員

右特別委員長

○第三回 大正十四年三月十八日

貴族院議長公爵徳川家達殿

○第二回 大正十四年三月十七日

出席委員

委員長 侯爵

大隈 信常

副委員長

淺田 徳則

委員 子爵

五辻 治

仲 同

郷 同

誠之助

同 男爵

伊藤 文吉

同

橋本 圭三郎

同

鍋島 桂次郎

同

溝手 保太郎

出席國務大臣

遞信大臣

犬養毅



出席説明員

遞信參與官	植原悦二郎
遞信省通信局長	島山敏行
遞信省經理局長	最所文二

開會 午前十時二十四分

○委員長侯爵大隈信常 開會ヲ宣告ス

○委員長侯爵大隈信常 散會ヲ命ス

散會 午後零時一分

○第三回 大正十四年三月十八日

出席委員

委員長 侯爵 大隈 信常	副委員長 淺田 徳則
委員 子爵 五辻 治	委員 男爵 郷 誠之助
委員 男爵 伊藤 文吉	委員 橋本圭三郎

同	鍋島 桂次郎	同	平尾 喜三郎
同	溝手 保太郎		
出席國務大臣		遞信大臣	犬養 毅

出席政府委員

遞信參與官	植原悦二郎
遞信省經理局長	島山敏行
遞信省經理局長	最所文二

開會 午前十時二十一分

○委員長侯爵大隈信常 開會ヲ宣告ス

○委員長侯爵大隈信常 散會ヲ命ス

散會 午後零時十二分

(附記) 同日議長ニ提出シタル委員長ノ報告左ノ如シ

日本無線電信株式會社法案



右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十四年三月十八日

議會 平對等和十二位

○委員長 貴族院議長公爵德川家達殿

右特別委員長 侯爵 大隈 信常

副委員長 平對等和二十一位

委員長 侯爵 大隈 信常 印

○委員 貴族院議員 大隈 信常

副委員長 侯爵 大隈 信常 印

○委員 出陣勲章委員 西村 三郎

委員 侯爵 大隈 信常 印

出陣勲章大尉 大隈 信常

委員 侯爵 大隈 信常 印

同 子爵 新庄 直知

委員 侯爵 大隈 信常 印

委員 侯爵 大隈 信常 印

鐵道敷設法中改正法律案特別委員會

鐵道敷設法中改正法律案特別委員會

長州鐵道株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案特別委員會

中國鐵道株式會社所屬鐵道及東京電燈株式會社所屬軌道ノ經營廢止ニ對スル補償ノ爲公債發行ニ關スル法律案特別委員會

(附記) 右各特別委員會會議錄ハ便宜之ヲ一括ス

委員選舉

○大正十四年三月七日議長ノ指名ヲ以テ鐵道敷設法中改正法律案鐵道敷設法中改正法律案特別委員ヲ選定スルコト左ノ如シ

○委員 子爵 大隈 給近 孝

○委員 子爵 新庄 直知

○委員 子爵 蒔田 廣城

○委員 平井 晴二郎

○委員 中村 是公



○大正十四年三月八日平井晴二郎委員ヲ辭任ス同年同月十日議長ハ其ノ補闕トシテ上山滿之進ヲ本委員ニ選定ス

○大(附記) 長州鐵道株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案ハ大正十四年三月十六日

中國鐵道株式會社所屬鐵道及東京電燈株式會社所屬軌道ノ經營廢止ニ對スル補償ノ爲公債發行ニ關スル法律案ハ大正十四年三月二十三日連繫事件トシテ其ノ審査ヲ鐵道敷

設法中改正法律案外一件特別委員ニ付託セラル

○大正十四年三月十四日委員長及副委員長ヲ互選ス其ノ結果左ノ如シ

委員長	子爵	新庄	直知
副委員長		倉知	鐵吉

第一回 大正十四年三月十九日

出席委員 委員長 子爵 新庄 直知 副委員長 倉知 鐵吉

委員 子爵 大給 東近 孝友 會澤 同 子爵 藤田 廣城

同 笠井 信一 同 男爵 藤田 平太郎

出席政府委員 鐵道省建設局長 八田 嘉明

鐵道省建設局長 八田 嘉明

鐵道敷設法中改正法律案

○委員長子爵新庄直知開會ヲ宣告ス

(參照)

鐵道敷設法中改正法律案



鐵道敷設法中左ノ通改正ス

別表百十四中「肥前山口附近」ヲ「佐賀」ニ改ム

○委員長子爵新庄直知

鐵道敷設法中左ノ通改正ス

附則第二項ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ新潟縣下坂町ヨリ山形縣下今泉ニ至ル鐵道ハ今泉ヲ長井ニ變更ス

長州鐵道株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案

長州鐵道株式會社所屬幡生小串間鐵道買收ノ爲政府ハ該買收ニ必要ナル額ヲ限度トシ公債ヲ發行スルコトヲ得

中國鐵道株式會社所屬鐵道及東京電燈株式會社所屬軌道ノ經營廢止ニ對スル補償ノ爲公債發行ニ關スル法律案

中國鐵道株式會社所屬總社澁井間鐵道及東京電燈株式會社所屬澁川沼田間軌道ノ經營廢止ニ對スル補償ノ爲政府ハ該補償ニ必要ナル額ヲ限度トシ公債ヲ發行スルコトヲ得

(附記) 本委員會議事ハ速記録ニ詳ナルヲ以テ茲ニ之ヲ略ス以下倣之

○委員長子爵新庄直知 散會ヲ命ス

散會 午後六時六分

第二回 大正十四年三月二十日

出席委員

委員長 子爵 新庄直知

委員 子爵 近孝

同 子爵 井信一

同 麻生太吉

出席政府委員

大正十四年三月二十日

鐵道政務次官

鐵道省建設局長

開會 午前十時四十七分

○委員長子爵新庄直知

散會ヲ命ス

○委員長子爵新庄直知



○委員 散會 午前十一時四十一分

○(附記) 同日議長ニ提出シタル委員長ノ報告左ノ如シ

長州鐵道株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十四年三月二十日

右特別委員長

貴族院議長公爵德川家達殿

第三回 大正十四年三月二十三日

出席委員

委員長 子爵 新庄 直知

副委員長

倉知 鐵吉

委員 子爵 大給 近孝

同 子爵

蒔田 廣城

同 村 是公

同

笠井 信一

同 藤田 平太郎

同

同

出席政府委員

鐵道政務次官

俵 孫一

鐵道省建設局長

八田 嘉明

開會 午後一時二十五分

○委員長子爵新庄直知 開會ヲ宣告ス

○委員長子爵新庄直知 散會ヲ命ス

散會 午後二時十九分

(附記) 同日議長ニ提出シタル委員長ノ報告左ノ如シ

中國鐵道株式會社所屬鐵道及東京電燈株式會社所屬軌道ノ經營廢止ニ對スル補償ノ爲公債

發行ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十四年三月二十三日

(附記) 鐵道敷設法中改正法律案(案修正稿)鐵道運輸法右特別委員長(案第六條)ハ本例ニ依テ

子爵 新庄 直知



貴族院議長公爵德川家達殿

(附記) 鐵道敷設法中改正法律案(衆第五號)鐵道敷設法中改正法律案(衆第六號)ハ本院ニ於テ

大正十四年三月十六日議決スルニ至ラスシテ議會ノ閉會トナレリ

委員長 子爵 新庄 直知印

副委員長 倉知 鐵吉印

中國鐵道料友會 推選委員 東京鐵道料友會 推選委員 鐵道料友會 推選委員

(附記) 同日委員ニ對出シテ委員長ノ聘書ヲ示シ

附會 子爵 新庄 直知

○委員長 子爵 新庄 直知

○委員長 子爵 新庄 直知

附會 子爵 新庄 直知

附會 子爵 新庄 直知

附會 子爵 新庄 直知

出動委員 子爵 新庄 直知

染料製造獎勵ニ關スル法律案特別委員會

委員選舉

○大正十四年三月十六日議長ノ指名ヲ以テ染料製造獎勵ニ關スル法律案特別委員ヲ選定スルコト左

ノ如シ

同 三木 與吉 侯爵 細川 護立

同 中島 久萬吉 子爵 冷泉 爲勇

委員 子爵 神野 勝之助

委員 子爵 中島 久萬吉

出動委員 三宅 秀

第一回 大正十四年三月十八日

片岡 直輝

藤山 雷太

三木 與吉 郎

富永 猿雄



○大正十四年三月十八日委員長及副委員長ヲ互選ス其ノ結果左ノ如シ

會議

第一回 大正十四年三月十八日

出席委員

委員長	侯爵 細川 護 立	副委員長	三宅 八 萬 秀
委員	子爵 冷 泉 爲 勇	同	神野 勝之助
同	男爵 中島 久 萬 吉	同	片岡 直 輝
同	三木 與 吉 郎		

出席政府委員

○大正十四年三月十八日 農商務政務次官 三 土 忠 造

出席說明員

農商務技師 富岡 惟 中

開會 午前十時十八分

○委員長侯爵細川護立ニ開會ヲ宣告ス

(參照)

染料製造獎勵ニ關スル法律案

第一條 政府ハ染料ノ製造ヲ獎勵スル爲本法施行ノ日ヨリ六年ヲ限リ毎年百萬圓以内ノ獎勵金ヲ交付スルコトヲ得

○前項獎勵金ノ總額ハ六年ヲ通シ四百萬圓以内トス

第一項ノ染料ノ品種ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二條 本法ニ依リ獎勵金ノ交付ヲ受クルコトヲ得ヘキ者ハ帝國法律ニ依リ設立シタル株式會社ニシテ其ノ資本ノ半額以上及議決權ノ過半數カ帝國臣民ニ屬スルモノニ限ル

前項ノ會社ハ命令ノ定ムル所ニ依リコールドール分溜物ノ處理ヲ以テ染料製造ノ工程ヲ開始スルコトヲ要ス

第三條 獎勵金ノ額ハ各品種ニ付其ノ市價及生産費ヲ標準トシ相當利益ヲ參酌シテ主務大臣毎年之ヲ定ム



第四條 詐欺ニ因リ會社カ獎勵金ヲ受ケタル場合ニ於テハ其ノ受ケタル獎勵金ニ法定利息ヲ附シテ之ヲ償還セシム

前項ノ償還金ハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ徵收スルコトヲ得但シ先取特權ノ順位ハ國稅ニ次クモノトス

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

(附記) 本委員會議事ハ速記録ニ詳ナルヲ以テ茲ニ之ヲ略ス

○委員長侯爵細川護立

散會 午前十一時五十五分

(附記) 同日議長ニ提出シタル委員長ノ報告左ノ如シ

染料製造獎勵ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

○委員 大正十四年三月十八日

開會 午前十時十八分

右特別委員長

侯爵 細川 護 立

貴族院議長公爵德川家達殿

委員長 侯爵 細川 護 立 印

副委員長 三宅 秀 印







(附記)

關東州ノ生産ニ係ル物品ノ輸入税免除ニ關スル法律案ハ大正十四年三月十九日、大正十三年法律第二十四號中改正法律案、關稅定率法中改正法律案ハ同年同月二十三日連繫事件トシテ其ノ審査ヲ鐵板ノ輸入税ニ關スル法律案特別委員ニ付託セラル

委員長及副委員長選舉

○大正十四年三月二十日委員長及副委員長ヲ互選ス其ノ結果左ノ如シ

委員選舉

委員長 子爵 松平直平

副委員長 男爵 東郷安

大第一回大正十四年三月二十日委員會

出席委員 子爵 柳生俊久

同 成清信愛

出席政府委員 大藏省主稅局長 黑田英雄

開會 午前十一時九分

○委員長子爵松平直平

開會ヲ宣告ス

(參照)

鐵板ノ輸入税ニ關スル法律案

關稅定率法別表輸入稅表中第四百六十二號第四項甲ノ三イノ内硅素鋼板(硅素ノ重量カ全重量ノ百分一以上ノモノ)竝同項乙ノ一イ及同項乙ノ二ニ掲クル物品ノ輸入税ハ當分ノ内同輸入税表ニ依ラス別表ニ依ル

附一則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(別表)



輸入税 番號	品名	單位	稅率
四六二	鐵板		
	甲 金屬ヲ鍍セサルモノ 甲ノ三 其ノ他 イ 厚〇・七ミリメートルヲ超エサルモノ ノ内硅素鋼板(硅素ノ重量カ全重量ノ百分ノ一以上ノモノ)	每百斤	〇・三〇
	乙 卑金屬ヲ鍍シタルモノ 乙ノ一 錫鍍シタルモノ(葉鐵及葉鋼) イ 尋常ノモノ	同	〇・七〇
	乙ノ二 電鍍シタルモノ(波形ト否トヲ別 タス)	從價	一割八分

備考 手從量稅率ノ單位ハ圓トス

關東州ノ生産ニ係ル物品ノ輸入税免除ニ關スル法律案

關稅定率法別表輸入稅表ニ掲クル物品ニシテ關東州ノ生産ニ係リ本法別表ニ掲クルモノノ輸入稅ハ之ヲ免除ス

前項ノ規定ニ依リテ輸入稅ノ免除ヲ受クル物品ニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ關東州ノ生産ニ係ルモノナルコトヲ證明スルコトヲ要ス

一 附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(別表) 一八二

輸入税 番號	品名
三二	内生果
七二	内綿羊革及山羊革(塗リタルモノヲ除ク)



一四二ノ二 甘草越幾斯  
 一四五 阿膠  
 一四六 ゼラチン  
 一五一ノ二 ブローム  
 本邦一六五ノ内曹達灰  
 一六九 硫酸曹達  
 二〇四 ナフタリン  
 二二九ノ内硫酸マグネシウム及コルタール分留物  
 二三〇ノ内コルタールヲ主要原料トシタル消毒劑  
 二七八ノ内苧麻絲及苧麻線  
 二八一ノ内黄麻絲及黄麻線  
 二八三 毛織絲  
 二八四 毛綿織絲  
 二八六ノ内野蠶真綿

二八八ノ内野蠶紡績絹織絲  
 二八九ノ内野蠶絹絲  
 二九六ノ内苧麻繩  
 二九九ノ内黄麻布(關東州ノ生産ニ係ル黄麻絲ヲ原料トシタルモノ)  
 三〇一ノ内天鷲絨、ブラッシュ其ノ他ノバイル織物以外ノ毛織物及毛綿交織物(關東州ノ生産ニ係ル毛織絲又ハ毛綿織絲ヲ原料トシタルモノ)  
 三一四ノ内油布(關東州ノ生産ニ係ル布帛及油ヲ原料トシタルモノ)  
 三二六ノ内毛製又ハ毛綿製ノブランケット(關東州ノ生産ニ係ル毛織絲又ハ毛綿織絲ヲ原料トシタルモノ)  
 四三二ノ内ポルトランドセメント  
 四三六ノ内耐火煉瓦  
 四三八 耐火性粘土製品(別號ニ掲ケサルモノ)  
 四四一 硝子塊  
 四四二 硝子粉



四四四 硝子板

六一七ノ内骨炭(徑一、二五ミリメートルノ圓眼ヲ有スル篩ヲ通過スルモノヲ除ク)

大正十三年法律第二十四號中改正法律案

大正十三年法律第二十四號中左ノ通改正ス

同法ニ左ノ二項ヲ加フ

切リ若ハ磨カサル貴石若ハ半貴石又ハ工ヲ加ヘサル琥珀ニシテ機械用品又ハ工業用品ノ製造ニ供スルモノニハ命令ノ定ムル所ニ依リ本法ニ依ル輸入税ノ一部ヲ免除スルコトヲ得  
前項ノ規定ニ依リ輸入税ノ免除ヲ爲ス場合ニ於テハ輸入ノ際免除スヘキ税金ニ相當スル擔保ヲ提供セシムルコトヲ得

別表輸入税番號第三十二號ノ項中「紅茶粉ヲ除ク」ヲ「紅茶粉及包種茶ヲ除ク」ニ改ム

同第九十四號ノ項ヲ左ノ如ク改ム

九四ノ内化學試驗用ハイドロバウダー以外ノ皮毛骨角齒牙甲殼類製品(別表ニ掲ケサルモノ) 同第九十五號ノ項中「芳香性ノモノ」ノ下ニ「大茴香油、桂皮油、桂葉油、シトラネラ油、スパイク油、レモンガラス油、シダー油、流動蘇合香、ジンジャガラス油、カエプト油、タイム油、

ユーカリブタス油、ローズマリー油、ベイ油、カナンガ油、ラヴェンダー油、セラニウム油、バルマローザ油、プチグレン油、パッチュリー油、丁香油、アジョーワン油、ローズウッド油、冬綠油及日本藥局方所定ノ白檀油ヲ除ク)ヲ加フ  
同第三百三十四號、第三百三十五號、第三百三十六號及第三百三十七號ノ項ヲ削ル

同第二百二十九號ノ内ノ項中「人造香料」ノ下ニ「リナリールアセテート、ベンヂールアセテート、アミルサリシレート、イオノーン、タービネオール及ベンヂールアルコールヲ除ク」ヲ加フ  
同第二百九十九號ノ項中「四十キログラム」ヲ「十七キログラム」ニ、「絲數三十」ヲ「絲數四十」ニ改ム

同第三百一號ノ項中「毛絹製ノモノ及毛綿絹製ノモノ」ノ下ニ「絹ノ重量全重量ノ百分ノ五ヲ超エサルモノヲ除ク」ヲ加フ

同第三百四十七號ノ項中「手袋」ノ下ニ「護謄製ノモノヲ除ク」ニ加フ  
同第三百五十五號ノ項中「護謄製ノモノヲ除ク」ヲ「護謄製ノモノ及支那靴ヲ除ク」ニ改ム  
同第三百九十二號ノ項中「書畫」ノ下ニ「轉寫用繪畫ヲ除ク」ヲ加フ







(附記) 同日議長ニ提出シタル委員長ノ報告左ノ如シ

○委員鐵板ノ輸入税ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十四年三月二十日

右特別委員長

子爵 松平直平

貴族院議長公爵德川家達殿

第二回 大正十四年三月二十三日

出席委員

委員長 子爵 松平直平 副委員長 男爵 東郷安

委員 子爵 柳生俊久 同 藤田四郎

出席政府委員 近衛素直 廣瀨直幹

出席政府委員 近衛素直

本日は公休日ロレニテハ誠計ス

關東廳内務局長

廣瀨直幹

○委員鐵板ノ輸入税ニ關スル法律案

出席説明員 近衛素直

大藏省主税局長

黒田英雄

大藏書記官

中島鐵平

農商務省工務局長

宮内國太郎

○委員開會 午前十時四十五分

○委員長子爵松平直平 開會ヲ宣告ス

○委員長子爵松平直平 散會ヲ命ス

散會 午前十一時四十四分

(附記) 同日議長ニ提出シタル委員長ノ報告左ノ如シ

關東州ノ生産ニ係ル物品ノ輸入税免除ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十四年三月二十三日

右特別委員長

子爵 松平直平



貴族院議長公爵徳川家達殿

第三回 大正十四年三月二十四日

出席委員

子爵 松平直平 副委員長男爵 東郷安

委員 子爵 柳田生 藤田四郎

委員 子爵 柳田俊久 同 藤田四郎

出席政府委員

大藏省主税局長

黒田英雄

○委員開會 午前十時五十一分

○委員長子爵松平直平 開會ヲ宣告ス

○委員長子爵松平直平 休憩ヲ命ス

休憩 午後零時一分

開會 午後一時三十五分

○委員長子爵松平直平 開會ヲ宣告ス

○委員長子爵松平直平 散會ヲ命ス

散會 午後二時三十一分

(附記) 同日議長ニ提出シタル委員長ノ報告左ノ如シ

大正十三年法律第二十四號中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十四年三月二十四日

右特別委員長

子爵 松平直平

貴族院議長公爵徳川家達殿

(附記) 關稅定率法中改正法律案ハ本院ニ於テ議決スルニ至ラスシテ議會ノ閉會トナレリ

委員長 子爵 松平直平 印

副委員長 男爵 東郷安 印



第三回 大正十四年三月二十四日

出席委員

關委員長

長

東

謙

安

委員

委員

長

平

直

平

委員

委員

長

平

直

平

委員

委員

長

平

直

平

出席委員

委員

長

平

直

平

大正十四年三月二十四日

○委員長及副委員長選舉

○委員長及副委員長選舉

○委員長及副委員長選舉

○委員長及副委員長選舉

○委員長及副委員長選舉

會計士法案特別委員會

委員選舉

○大正十四年三月十六日議長ノ指名ヲ以テ會計士法案特別委員ヲ選定スルコト左ノ如シ

出席委員

出席委員

侯爵

久

我

常

出席委員

出席委員

子爵

山

脇

基

出席委員

出席委員

子爵

大

宮

以

出席委員

出席委員

子爵

伊

集

院

出席委員

出席委員

道

家

大

齊

出席委員

出席委員

男爵

河

村

讓

出席委員

出席委員

男爵

小

畑

大

出席委員

出席委員

志

村

源

太

出席委員

出席委員

橋

本

辰

二

出席委員

出席委員

橋

本

辰

二

○大正十四年三月十八日委員長及副委員長ヲ互選ス其ノ結果左ノ如シ

委員長及副委員長選舉



○大五十四年三月十八日委員及副委員長及委員長、副委員長、河村讓三郎、山脇玄

會議

第一回 大正十四年三月二十三日

出席委員

委員長 山脇玄 副委員長 河村讓三郎

委員 子爵 大宮以季 同 男爵 小畑大太郎

同 志村源太郎 同 千種 橋本辰二郎

出席國務大臣

農商務大臣 高橋是清

出席政府委員

○大五十四年三月十六日委員、司法參與官、農商務參與官、堀切善兵衛

委員選舉

會計士出席説明員會

農商務省商務局長 委員長 松村真公 議員 山脇玄

○委員長 山脇玄 開會ヲ宣告ス

(參照)

會計士法案

會計士法

第一章 會計士ノ職務

第一條 會計士ハ當事者其ノ他ノ關係人又ハ公務所ノ囑託ニ依リ會計ニ關スル職務ヲ行フモノ

トス

第二條 會計士ハ農商務大臣ノ監督ヲ受ク

第二章 會計士ノ資格

第三條 會計士タラムトスル者ハ左ノ條件ヲ具備スルコトヲ要ス

一 帝國臣民ニシテ民法上ノ能力ヲ有スル者

二 會計士試驗ニ合格シタル者



三 會計士銓衡委員會ノ銓衡ヲ經タル者

第四條 會計士試験及銓衡ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第五條 左ニ掲クル者ハ會計士タルコトヲ得ス

一 無期若ハ六年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處セラレタル者但シ國事犯ニシテ復權シタルトキハ

此ノ限ニ在ラス

二 刑法第二編第一章乃至第三章第五章第七章乃至第十三章第十六章乃至第二十三章第二十

五章第二十六章第三十二章第三十三章第三十五章乃至第四十章ノ規定ニ依リ懲役又ハ禁錮

ノ刑ニ處セラレタル者但シ國事犯ニシテ復權シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

三 破産若ハ家資分散ノ宣告ヲ受ケ復權セサル者又ハ身代限ノ處分ヲ受ケ債務ヲ辨償セサル

者

四 懲戒ノ處分ニ依リ免官免職又ハ除名セラレタル者

五 禁治産又ハ準禁治産ノ宣告ヲ受ケタル者

第六條 會計士ハ他ノ職業ニ從事シ法人ノ取締役理事無限責任社員若ハ法人其ノ他ノ使用人ト

ナリ又ハ報酬アル公務ヲ兼スルコトヲ得ス但シ法令ニ依リ議員若ハ委員トナリ公務所ヨリ特

ニ囑託ヲ受ケタル職務ヲ行ヒ民法第三十四條ノ法人ノ理事トナリ又ハ學校ノ教職ヲ兼スルハ  
此ノ限ニ在ラス

第三章 會計士名簿

第七條 會計士ハ會計士名簿ニ登録セラルルコトヲ要ス其ノ登録ハ

第八條 會計士名簿ニ關スル規定ハ農商務大臣之ヲ定ム

第四章 會計士ノ權利及義務

第九條 會計士ハ其ノ職務ニ關シ報酬及旅費ヲ受ク

第十條 會計士ハ左ニ掲クル事項ニ付其ノ職務ヲ行フコトヲ得ス

一 官公吏又ハ監査役監事若ハ検査役トシテ其ノ職務上關與シタル會計事項

二 取締役無限責任社員理事清算人管理人仲裁人又ハ辯護士トシテ其ノ職務上關與シタル會

計事項

第十一條 會計士ハ左ニ掲クル事項ヲ爲スコトヲ得ス

一 會計士ニ非サル者ト共同シテ職務ヲ行ヒ又ハ會計士ニ非サル者ヲシテ自己ノ名ヲ以テ職

務ヲ行ハシムルコト但シ豫メ農商務大臣ニ届出アル事務員ヲシテ個個ノ事務ヲ代理セシム



ルハ此ノ限ニ在ラス  
 二 直接間接ニ他人ヲシテ自己ノ職務ヨリ生スル利益ノ分配ニ與ラシメ若ハ與ラシムルコトヲ約束シ又ハ職務受託ニ關シ他人ニ對シテ手数料若ハ報酬ヲ與ヘ若ハ受クル約束ヲ爲スコト

三 他人ノ職務ヨリ生スル利益ニ付其ノ分配、手数料若ハ報酬ヲ受ケ又ハ受クルコトヲ約束スルコト

四 債權取立ノ受託又ハ之ニ類スル行爲ヲ爲スコト

第五章 會計士會

第十二條 會計ハ會計士會ヲ設立シ其ノ規約ヲ定メ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ其ノ規約ヲ變更セムトスルトキ亦同シ

第十三條 會計士ハ會計士會ニ加入シタル後ニ非サレハ其ノ職務ヲ行フコトヲ得ス

第六章 罰則

第十四條 會計士又ハ會計士タリシ者故ナク其ノ職務上取扱ヒタル事項ニ付秘密ヲ漏泄シタルトキハ六月以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第十五條 刑法第九十七條及第九十八條ノ規定ハ會計士ノ職務執行ニ付之ヲ準用ス

第十六條 第七條ノ登録ヲ受ケサル者會計士會ニ加入セサル者又ハ職務停止中ノ者會計士ノ稱號ヲ用キ其ノ職務ヲ行ヒタルトキハ六月以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第七章 懲戒

第十七條 會計士此ノ法律又ハ會計士會ノ規約ニ違反シタルトキハ懲戒ニ付ス

第十八條 懲戒ハ左ノ四種トス

- 一 譴責
- 二 千圓以下ノ過料
- 三 三年以下ノ職務停止
- 四 除名

第十九條 懲戒ハ農商務大臣之ヲ行フ但シ會計士會ハ其ノ決議ニ依リ之ヲ申告スルコトヲ得

本法施行ノ期日ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム



得 會計士法案特別委員會、會計士法案ハ法律ニシテ、内閣三讀案ニ對シテ、議決スルニ決メ、會計士法案ニシテ、外國人カ帝國内ニ於テ第一條規定ノ職務ヲ行フコトニ關シテハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

(附記) 本委員會議事ハ速記録ニ詳ナルヲ以テ茲ニ之ヲ略ス

○委員長山脇玄 散會ヲ命ス大正十四年三月十九日午後五時二十五分

散會 午後五時二十五分

(附記) 會計士法案ハ本院ニ於テ之ヲ議決スルニ至ラスシテ議會ノ閉會トナレリ

委員長

山脇

玄印

副委員長

河村讓三郎

印

一 會計士法案ハ法律ニシテ、内閣三讀案ニ對シテ、議決スルニ決メ、會計士法案ニシテ、外國人カ帝國内ニ於テ第一條規定ノ職務ヲ行フコトニ關シテハ命令ヲ以テ之ヲ定ム  
二 會計士法案ハ本院ニ於テ之ヲ議決スルニ至ラスシテ議會ノ閉會トナレリ  
三 會計士法案ハ本院ニ於テ之ヲ議決スルニ至ラスシテ議會ノ閉會トナレリ  
四 會計士法案ハ本院ニ於テ之ヲ議決スルニ至ラスシテ議會ノ閉會トナレリ  
五 會計士法案ハ本院ニ於テ之ヲ議決スルニ至ラスシテ議會ノ閉會トナレリ  
六 會計士法案ハ本院ニ於テ之ヲ議決スルニ至ラスシテ議會ノ閉會トナレリ  
七 會計士法案ハ本院ニ於テ之ヲ議決スルニ至ラスシテ議會ノ閉會トナレリ  
八 會計士法案ハ本院ニ於テ之ヲ議決スルニ至ラスシテ議會ノ閉會トナレリ  
九 會計士法案ハ本院ニ於テ之ヲ議決スルニ至ラスシテ議會ノ閉會トナレリ  
十 會計士法案ハ本院ニ於テ之ヲ議決スルニ至ラスシテ議會ノ閉會トナレリ

漁業財團抵當法案特別委員會

登錄稅法中改正法律案特別委員會

印紙稅法中改正法律案特別委員會

(附記) 右各特別委員會會議錄ハ便宜之ヲ一括ス

委員選舉

○大正十四年三月十九日議長ノ指名ヲ以テ漁業財團抵當法案、登錄稅法中改正法律案、印紙稅法中改正法律案特別委員ヲ選定スルコト左ノ如シ

伯爵 勸修寺經雄

子爵 曾我祐邦

男爵 田健治郎

男爵 上山滿之進

男爵 小畑大太郎

橋本圭三郎

志村源太郎



委員長及副委員長選舉

○大正十四年三月二十日委員長及副委員長ヲ互選ス其ノ結果左ノ如シ

會議

第二回會大正十四年三月二十日

○大五出席委員

委員長 伯爵 勸修寺經雄

副委員長男爵

田健治郎

(附)委員 員子爵委員會我

上山滿之進

明澤壽若同五若男爵曾眼小畑大太郎

橋本圭三郎

登嶽壽若同五若男爵曾眼平尾喜三郎

出席委員外議員委員會

出席政府委員

男爵 平野長祥

大藏政務次官

早速

農商務參與官

堀切善兵衛

出席説明員

農商務省水産局長

三井米松

大開會 午後一時十七分

○副委員長男爵田健治郎 開會ヲ宣告ス

(參照)

漁業財團抵當法案

第一條

漁業權若ハ其ノ登録シタル賃借權ヲ有スル者、漁業ノ用ニ供スル登録シタル船舶ヲ有スル者又ハ水産物ノ養殖場ヲ有スル者ハ之ニ付抵當權ノ目的ト爲ス爲漁業財團ヲ設クルコトヲ得